令和7年6月16日 茨城県潮来保健所

令和6年度医師派遣要望の結果について

令和7年3月26日開催の令和6年度第5回茨城県地域医療対策協議会において令和6年度医師派遣要望の結果が報告されました。

今年度の鹿行保健医療圏からの要望に対する医師の派遣はありませんでした。

なお、要請外の派遣として筑波大学より、下記のとおり2.5人の医師派遣となりましたので、取り急ぎご報告させていただきます。

記

1 要望

医療機関	診療科	要望数	結果
白十字総合病院	消化器内科	1人	0人
口一子総口例元	総合診療科	1人	0人
神栖済生会病院	呼吸器内科	1人	0人
神性消光云病院	腎臓内科	1人	0人
高須病院 救急科		1人	0人
計		5人	0人

2 医師派遣要請以外の医師配置

医療機関	診療科	結果	派遣元
小山記念病院	脳神経外科	0.5人	筑波大学
神栖済生会病院	総合診療科	2.0人	筑波大学

病床数適正化支援事業について

令和7年6月 茨城県医療政策課

病床数適正化支援事業について

事業の概要

- ▶ 令和6年度国補正予算(2024年12月17日成立)にて措置された、医療機関向けの緊急支援パッケージの一つ
- ▶ <u>医療需要の急激な変化を受けて病床数の適正化を進める医療機関は、職員体制の変更等による職員の雇用等の</u> 様々な課題に対して負担が生じるため、経営状況が厳しい医療機関に対して入院医療を継続してもらうことを目的に緊急的に支援を行う(国の補助金を100%原資とした国補事業)

支給要件

- ・令和6年12月17日から令和7年9月30日までの間に病床(一般・療養・精神)を削減すること
- ・入院医療を継続すること

閉院や無床診療所に移行する場合、削減後残った病床が休床の場合など、**入院医療の継続という目的に合致しない場合は対象外**

支給単価

・1床あたり4,104千円

第1次内示

▶ 下記 ~ の基準に基づき、各都道府県に配分(本県は全国5番目に多い260床分(約10.7億円)の内示)

意向調査	(3月)	第1次内表	京(4月)
病床数	金額(千円)	病床数	金額(千円)
1,009	3,951,468	260	1,067,04 0

県から医療機関に対する配分において も、下記 ~ に基づいて行う必要

第1次内示において国から示された基準

一般会計の繰入等がない医療機関であって、**令和4年度から3年連続経常赤字**又は**令和5年度から2年連続経常赤字かつ令和6年度に病床削減済み**の医療機関

給付額の上限は、 の赤字額の平均の半分(目安)

一医療機関あたりの給付は50 床が上限

病床数適正化支援事業について

本県の対応

- ▶ 国が示す基準 ~ に基づき第1次内示分の算定を行い、各医療機関へ通知
- ▶ 国においては、緊急支援パッケージの他の事業で生じた残余を活用して、6月中旬を目途に第2次内示を行うことを検討しており、事業規模は更に拡大する見込み(ただし、第2次内示の規模や配分方法は不明)

地域医療構想調整会議に対しあらかじめ削減数や削減の時期を報告し、今後の入院医療の提供に係る方針を共有

スケジュール (想定)

時期	国	県	医療機関
4月	・第1次内示	・第1次内示に基づき配分調整	
5月		・医療機関に対し改めて意向調査を実施	・意向調査に回答
6月	・第2次内示	・第2次内示に基づき配分調整	・ <u>調整会議へ削減数・今後の方向</u> 性を報告
7~9月		・調整会議の結果を踏まえ、配分額を確定	・ <u>病床削減を実施(9/30まで)</u>
10月以降	・交付決定	・(予算成立後)国へ交付申請・(予算成立後)医療機関へ給付金を支給	・(予算成立後)実績ベースで 県へ交付申請

<病床数適正化支援事業 医療機関一覧(鹿行保健医療圏)> (令和7年5月調査より) 医療機関 病床種別 削減数 削減時期 No 二次保健医療圏 高度急性期 急性期 回復期 慢性期 休床中 鹿島病院 鹿行 精神病床 令和7年9月30日 44 44 合計 44 44 0 0 0 0

(共同利用計画申請鑑)

令和 7年 4月 9日

茨城県潮来保健所長 殿

(開設者が法人の場合は法人名称及び主たる事務所の所在地・代表者名を記載) 医療機関開設者 住 所 茨城県潮来市島須 733

氏 名 大城 恬瑩

下記のとおり共同利用の対象となる医療機器を購入したいので、提出します。

< 共同利用の対象とする医療機器>

- (1) СТ (全てのマルチスライスСТ及びマルチスライスСТ以外のСТ)
- (2) MRI (1.5 テスラ未満, 1.5 テスラ以上 3.0 テスラ未満及び 3.0 テスラ以上のMRI)
- (3) PET (PET及びPET-CT)
- (4) 放射線治療(リニアック及びガンマナイフ)
- (5) マンモグラフィ

No.	新規/	購入予定の医療機器	共同利用の予定※2、3	共同利用を行わな
更新※1	種類またはグレード	(該当するものに○)	い場合の理由**4	
-1	並に 4日	СТ	行う・行わない	
1 新規	Aquilion Prime SP SPREAD	11) 11 42 /2 (1		
9	фC 11 1	MRI	行うう行わない	
2 新規	Vantage Elan	11) 11 42 /2 (
			行う・行わない	

- ※¹「新規:新たな対象機器の購入(追加購入の場合を含む)」、「更新:既存の医療機器を買い替える場合」として記載してください。
- ※² 共同利用については、「画像診断が必要な患者を、医療機器を有する医療機関に対して患者情報とともに紹介する場合」を含みます。
- ※³ 共同利用を行う場合は、医療機器の共同利用に係る計画(別添様式)を、購入する機器ごとに提出してください。
- ※⁴ 共同利用を行わない場合、その理由について地域医療構想調整会議にて すので、御記入ください。

医療機器の共同利用に係る計画

1 共同利用を行う医療機 関名	潮来ハートクリニック
開設者名	大城 恬瑩
所 在 地	茨城県潮来市島須733番地
連絡先	NTTと調整中 0299-77-5726
2 共同利用を行う医療機 器名	Aquilion Prime SP SPREAD
3 共同利用の相手方となる医療機関名	当院に対して共同利用の申し出があった医療機関
開設者名	
所在地	
4 共同利用の開始時期	2025年5月26日
5 保守、整備等の実施に	
関する方針	保守点検計画に沿って、始業・終業点検、定期保守点検
	を実施し、保守点検記録に残す。
6 画像情報及び画像診断	画像情報提供および画像診断情報の提供方法に関して
情報の提供に関する方針	は、デジタルデータ(CD 又は DVD 等)にて提供を行う。
(画像撮影等検査機器の	画像診断情報(読影)は希望のある施設のみ行う。
場合)	日本の時間を記りませまっる。
7 備考	
	ホームページ上および地域医療連携担当者の施設訪問を
	通して、利用の促進を図る。

- ※ 医療機器の共同利用に係る計画は、共同利用の対象となる医療機器ごとに作成すること。
- ※ 「3共同利用の相手方となる医療機関名」について、共同利用の相手方となる医療機関が決まっていない場合は、「当院に対して共同利用の申し出があった医療機関」などと記載し、「7備考」に自院において、共同利用の相手方となる医療機関を確保するための取組を記載すること。

医療機器の共同利用に係る計画

1 共同利用を行う医療機関名	潮来ハートクリニック
開設者名	大城 恬瑩
所 在 地	茨城県潮来市島須733番地
連絡先	NTTと調整中 0299-77-5726
2 共同利用を行う医療機器名	Vantage Elan
3 共同利用の相手方となる医療機関名	当院に対して共同利用の申し出があった医療機関
開設者名	
所在地	
4 共同利用の開始時期	2025年5月26日
5 保守、整備等の実施に 関する方針	保守点検計画に沿って、始業・終業点検、定期保守点検を実施し、保守点検記録に残す。
6 画像情報及び画像診断 情報の提供に関する方針 (画像撮影等検査機器の 場合) 7 備考	画像情報提供および画像診断情報の提供方法に関しては、デジタルデータ(CD 又は DVD 等)にて提供を行う。 画像診断情報(読影)は希望のある施設のみ行う。 ホームページ上および地域医療連携担当者の施設訪問を通して、利用の促進を図る。

- ※ 医療機器の共同利用に係る計画は、共同利用の対象となる医療機器ごとに作成すること。
- ※ 「3共同利用の相手方となる医療機関名」について、共同利用の相手方となる医療機関が決まっていない場合は、「当院に対して共同利用の申し出があった医療機関」などと記載し、「7備考」に自院において、共同利用の相手方となる医療機関を確保するための取組を記載すること。

医療法人玉心会 鹿嶋ハートクリニック 病院化後の現状報告

医療法人 玉心会 理事長 黄 恬瑩

鹿嶋ハートクリニック

- ア) 医師数 10名 (2025年4月現在)
- イ) 看護師数 39名 (2025年4月実績) ※2024年より9名増員
- ウ)1日平均外来患者数 149.8名 (2024年4月実績)
- エ)病床稼働率 97.2% (2025年4月実績)※19床換算では117.7%
- 才)平均在院日数 5.06日 (2024年4月実績)
- カ)ハイケアユニット利用率 100.8% (2025年4月実績)
- キ)救急車受入台数 29台 (2025年4月実績)※前年同月比131.8%
- ク)紹介率 38.0% (2025年4月実績)

第1手術室および第2手術室



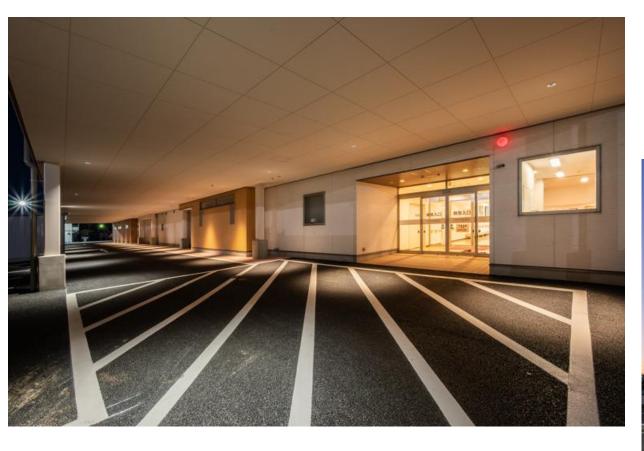


HCU





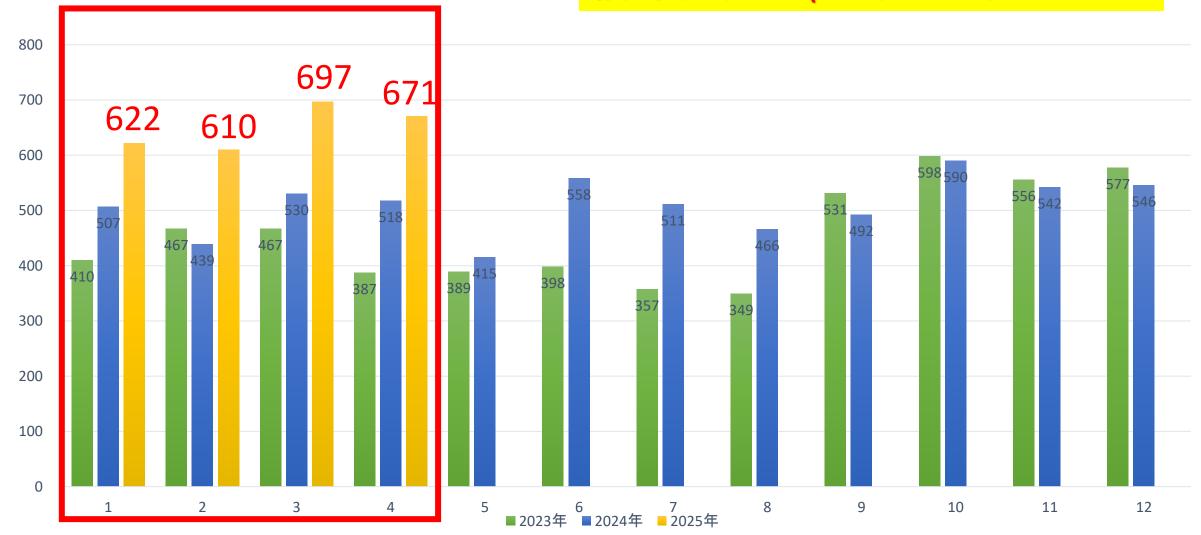
救急外来および外観



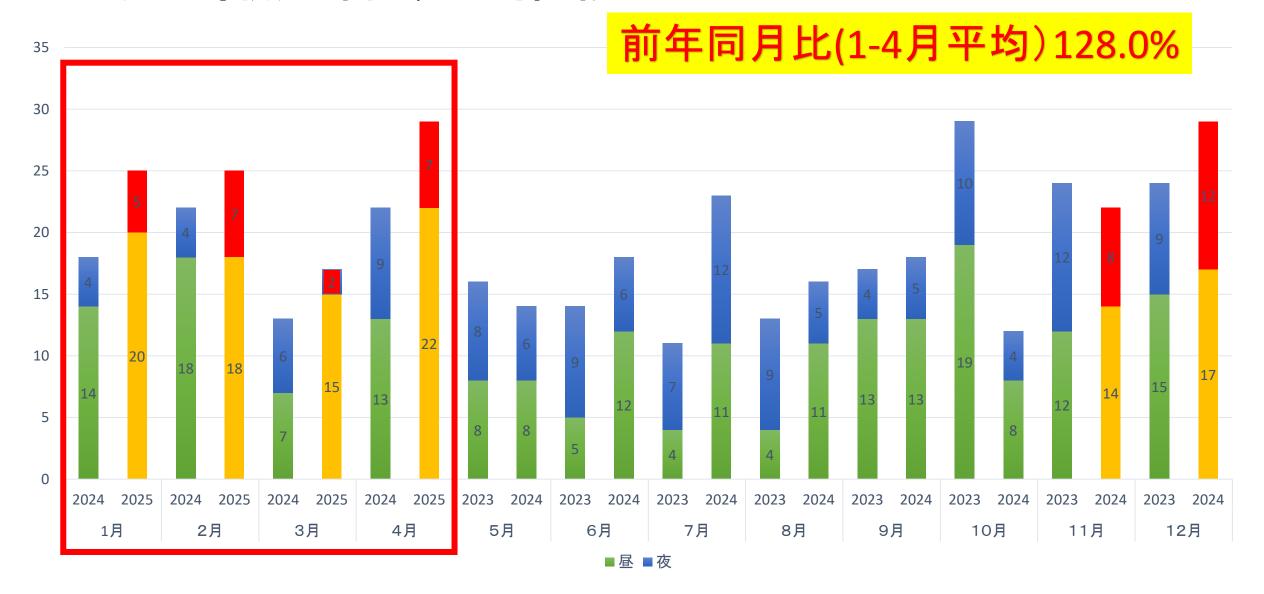


入院患者延数の推移

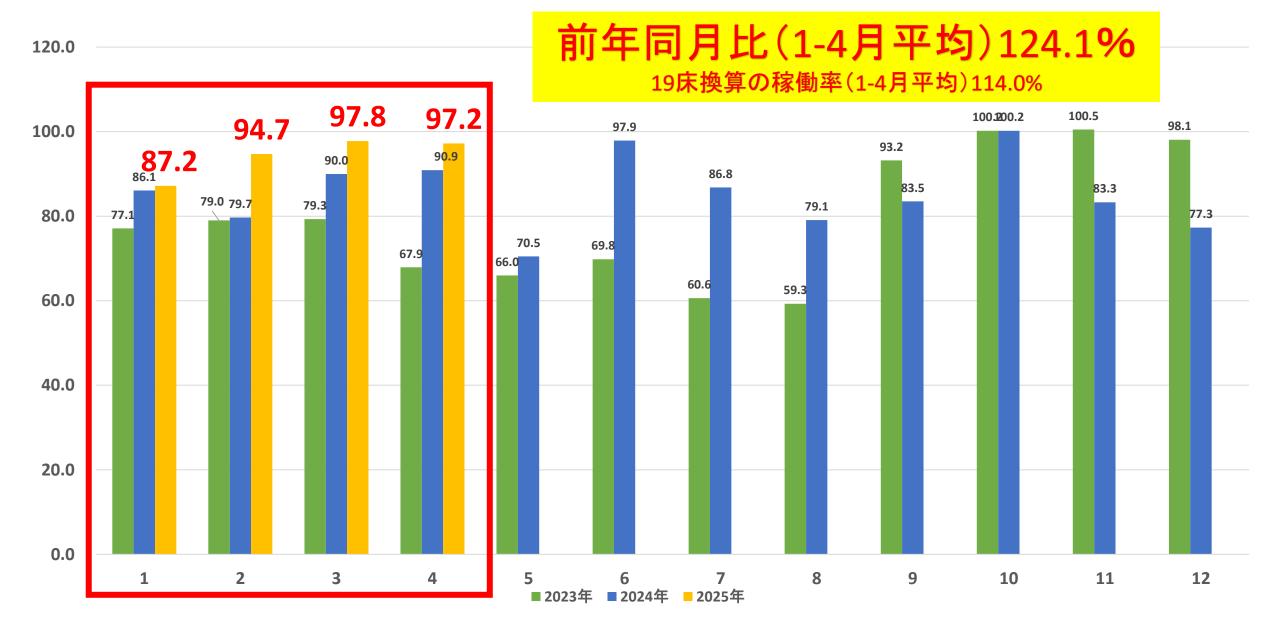
前年同月比(1-4月平均)130.4%



救急搬送件数の推移



病床稼働率(%)の推移



診療実績

2024年実績

1日平均外来患者数	151.8名
1日平均入院患者数	15.0名
1ヵ月平均救急車台数	18.9台
経皮的冠動脈形成術(PCI)	249例
末梢血管カテーテル治療(EVT)	35例
経皮的カテーテル心筋焼灼術(ABL)	223例
ペースメーカー移植・交換術	57例
開胸手術	34例
ステントグラフト内挿術	15例
脳血管内手術	31例

指定医療機関

救急医療告示病院

難病指定医療機関

生活保護法指定医療機関

紹介受診重点医療機関

施設認定

日本循環器学会

循環器専門医研修関連施設(旧制度)認定(2016年4月)

循環器専門医研修施設(新制度)認定(2024年4月)

日本ステントグラフト実施基準管理委員会

腹部ステントグラフト実施施設認定(2016年6月)

胸部ステントグラフト実施施設認定(2019年4月)

下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会

下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設認定(2016年6月)

日本不整脈心電学会

不整脈専門医研修施設認定(2017年4月)

日本心血管インターベンション治療学会

研修施設認定(2017年11月)

日本外科学会

外科専門医制度関連施設認定(2018年1月)

National Clinical Database

NCD施設会員[外科領域](2020年3月)

浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会

浅大腿動脈ステントグラフト実施施設認定(2022年4月)

日本脳卒中学会

一次脳卒中センター認定(2023年4月)

紹介受診重点医療機関認定(2023年8月)

日本脳神経血管内治療学会

専門医研修施設(2024年4月)

昭和大学

学外臨床研究医療機関認定(2020年5月)

帝京大学医学部付属病院

循環器内科研修関連施設群(旧制度)

内科専門医研修プログラム

筑波記念病院

内科専門医研修プログラム

外科専門医研修プログラム

三学会構成心臓血管外科専門医認定機構

修練施設認定(新規基準)(血管領域)(2024年1月)

施設基準

医療DX推進体制整備加算·医療情報取得加算

救急医療管理加算1

超急性期脳卒中加算

医師事務作業補助体制加算1 20対1

心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算

ニコチン依存症管理料

がん治療連携指導料

医療機器安全管理料1

在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料

検体検査管理加算(1)

検体検査管理加算(2)

CT撮影及びMRI撮影

心大血管疾患リハビリテーション料(1)

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)

大動脈バルーンパンピング法(IABP法)

植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを

用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術 両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術

(経静脈電極の場合)

両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)

及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)

経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルいよるもの)

一般病棟入院基本料 急性期一般入院料1

感染対策向上加算3

診療録管理体制加算3

データ提出加算 1・3の口(医療法上の許可病床数が200床未満)

入院時食事療養/生活療養(丁)

24時間365日救急体制について

救急告示病院申請

4月

救急対応 チーム結成

緊急手術 HCU担当 看護師育成 救急告示病院化 24時間救急受入開始

医療安全加算①取得

5月

急性期一般 入院料① 算定開始 6月 心臓外科 緊急手術 対応準備 HCU医療管理加算準備

緊急手術対応

2025年度に実施予定	2025年	E度に	こ実施	予定
-------------	-------	-----	-----	----

・救急隊からのホットラインに24時間365日対応	2025年5月より開始
・冠動脈疾患に対する「ダイヤモンドバック」を実施する	2025年5月より開始
・重症心不全に対する「心臓再同期療法(CRT)」を実施する	2024年12月より開始
・重症の不整脈に対する「植込み型除細動器(ICD)」を実施する	2024年12月より開始
・重症の心室性不整脈に対する「両心室ペーシング機能付き植込み型除細動器(CRT-D)」を実施する	2024年12月より開始
・緊急植え込み型ペースメーカー術への対応を行う	2025年4月より開始
・冠動脈疾患に対する「ショックウェーブ(冠動脈IVLシステム)」を実施する	2025年8月より開始予定
・小開胸左心耳閉鎖術を開始する	2025年8月より開始予定
・低侵襲心臓手術(MICS)を開始する	2025年8月より開始予定
・僧帽弁閉鎖不全症に対する「MitraClip(経皮的僧帽弁接合不全修復術)を実施する	2025年8月より開始予定
2025年度以降に計画	
・ICUまたはCCUの整備を行う	
·緊急心臓血管外科手術(急性大動脈解離、緊急CABG)を開始する	
・心原性ショックや急性心不全に対する「IMPELLA(補助循環用ポンプカテーテル)」を実施する	
・心臓弁膜症に対する「経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)」を実施する	

令和6年6月14日 茨城県潮来保健所

令和7年度 医師派遣要望の調整について

本年度の主な留意事項

- ・医師少数区域は医療圏あたり5人以内とする。
- ・医療圏内での診療科の重複要望は不可とする。

派遣要望調查対象病院

派是女王阿丑/73/1/1/1		政策医療の分野					
病院名	がん	脳卒中	心血管疾患	救急 医療	周産期 医療	小児救 急医療	
小山記念病院							
白十字総合病院							
神栖済生会病院							
高須病院							
鉾田病院							
鹿嶋ハートクリニック							

保健所から各医療機関への依頼

- ・各医療機関からの要望は、1~2名でお願いします。
- ・重複した医療機関へご連絡させていただき、調整をお願いする場合があります。

各医療機関からの要望(4病院8名)

優先	白十字総合	含病院	神栖済生会	会病院	小山記念	病院	鹿嶋ハートク	リニック
順位	診療科	分野	診療科	分野	診療科	分野	診療科	分野
	内科	救急	腎臓内科 (再)	救急	腎臓内科	救急	循環器内科	心血管 疾患
	整形外科	救急	呼吸器内科 (再)	救急	腎臓内科	救急	心臓血管 外科	心血管 疾患

各病院から要望のあった診療科目は、地域としての最重要課題である救急受入を増加させるための要望であるが、当医療圏からの要望人数は5人以内とする必要があることから、以下のとおり整理・調整する。

要望順位1位の取扱い(案)

(採用)

・要望順位1位に上げており、診療科目が重複していない「白十字総合病院の内科」「鹿嶋ハート クリニックの循環器内科」は採用とする。

(協議)

・医療圏内での診療科の重複要望は不可のため、神栖済生会病院と小山記念病院の腎臓内科に ついては、一方のみとする必要があるため、協議が必要である。

仮に神栖済生会病院が採用された場合は小山記念病院からの要望は出来なくなる。

要望順位2位の取扱い(案)

(採用)

・上記協議において、不採用となった病院の要望順位2位を採用する。(腎臓内科除く)

(協議)

・残り1枠又は2枠について協議が必要である。

調整後の案

・太枠2名は採用。残り3枠を協議。

優先	白十字総合	含病院	神栖済生会	余病院	小山記念	病院	鹿嶋ハートク	リニック
順位	診療科	分野	診療科	分野	診療科	分野	診療科	分野
	内科	救急	腎臓内科 (再)	救急	腎臓内科	救急	循環器内科	心血管 疾患
-	整形外科	救急	呼吸器内科 (再)	救急	腎臓内科	救急	心臓血管 外科	心血管 疾患

医療圏において5名の順位付けは行わない。(後日依頼があった場合は、上記のとおり4病院の要望1位は全て1位とし、2名要望した病院の要望2位の診療科を2位とする。)

県医療人材課への提出

・本日の会議結果を反映し、R7 調査票(総括表)及び要望する病院の個票 ・ を県医療人材課へ 提出する。

個票については、医療機関の機微な情報が記載されているため一部を空欄としております。

【回答提出先】 茨城県保健医療部医療局医療人材課 医師確保グループあて E-mail: i.doctor@pref.ibaraki.lg.ip

色付きのセルに入力してください。

(回答者情報)

次保健医療圏 應行保健医療 潮来保健所 地域保健推進室 担当者職氏名 係長 川上 孝行 電話番号(内線) 0299-66-2115

令和7年度医師派遣調整に係る医師派遣要望調査

問1 地域医療構想調整会議における議論の状況について (1) 支援機助域医療構想 甲成25年12月度定 | における二次医療圏内の政策医療の現状及び課題 脳卒平・急性心筋健塞等の患者が域外が出している。 医師、歯科医師、薬剤師、看護師等が不足しており、特に医師の不足が顕著となっている。 教養機送に時間がかかっている。

(2) その過数会議における議論や社会情勢の変化等により新たに生じた課題等 (医療機関の開設・閉鎖・銃廃合、新興感染症、災害、都市計画、人口減少、少子化、高齢化、公共交通等)

救急医療| | 救急搬送については、地域全体で、年間2,000台の増加を目指すことで合意を得られた。 一方で、行方市及び鉾田市の救急搬送については、なめがた地域医療センターの休床等により、搬送先の確保等の課題が残っている。

(3) 上記の課題に対する医療圏としての対応方針、医療機能の拠点化・集的化に向けた今後の方向性 |版 中 中 重症患者への教急対応・小山記念病院・日本版卒中学会認定・ ア版卒中センター 専門的医療を行う医療機関・小山記念病院・白十字総合病院・鹿嶋ハートクリニック 一次版卒中センターでもある小山記念病院を中心に、地域においてある一定程度の診療を行える体制を構築して行く必要がある。

[心血管疾患] 重症患者への救急対応:小山記念病院・鹿嶋ハートクリニック 専門的医療を行う医療機関:小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院・廰嶋ハートクリニック

ん】 重症患者への救急対応・小山記念病院(地域がん診療病院) 専門的医療を行う医療機関・小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院 上記については、現状の確認のみを行ったところであり、引き続き拠点化・集約化等の協議を行っていく。

[教急医療] 重在患者への救急対応・小山記念病院・白十字総合病院・神暦済生会病院・高須病院・専門的医療を行う医療機関・小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院・高須病院・鉾田病院・なめがた地域医療センター 救急搬送については、地域全体で、年間2000台の増加を目前すことで含意を得られている。 なめがた地域医療センターについては、2025年までに専門的医療を廃止することを予定している。 台級機関院において、自助努力を含めあらゆる方策を取りながら域内での救急受入の増加を目指している受がある。

[周産期医療] 小山記念病院(周産期救急医療協力病院) 「小児医療! 油晒溶生金症院(地域小児教会センター)

4)課	題解決に向けた各政	策医療分野における各医療機関の拠点化·集約化·役割分担·連携·機能分化の方向性
	政策医療分野	医療機能の拠点化・集約化、各医療機関の役割分担・連携・機能分化の方向性 機能強化する医療機関についてのみでなく、それに伴う他の医療機関の対応についても記載願います
	がん	[重症患者への救急対応] :小山記念病院 (地域がん診療病院) [専門的医療を行う医療機関):小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院
		役割分担について協議を行っておらず、今後継続的な協議が必要
	脳卒中	[重症患者への救急対応] :小山記念病院(日本脳卒中学会認定ー次脳卒中センター) [専門的医療を行う医療機関]:小山記念病院・白十字総合病院・鹿嶋ハートクリニック
		一時脳卒中センターである小山記念病院(365日24時間体制)を中心に、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニックにおいて専門的な医療を行っている。
	心血管疾患	【重症患者への救急対応】 :小山記念病院・鹿嶋ハートクリニック 【専門的医療を行う医療機関】:小山記念病院・白十学総合病院・鹿嶋ハートクリニック
		役割分担について協議を行っておらず、今後継続的な協議が必要
		[重症患者への救急対応] :小山記念病院·白十字総合病院·神栖済生会病院・高須病院 [専門的医療を行う医療機関]・小山記念病院・白十字総合病院・神栖済生会病院・高須病院・鉾田病院・なめがた地域医療センター
	救急医療	救急搬送受入件数について、 地域全体で年間2,000件の増加を目標に取り組む。 搬送時間の短端と受入強化のため、小山記念病院は2025年に回復期病床を急性期病床への病床転換を行う(30床)。
		各医療機関とも救急搬送要請を断らない方針を掲げ努力をしているが、要請件数が増え疾患の幅が多様化する中で自助努力では対応できなくなってきている。 底行医療園内で発生している救急搬送患者のうち4割弱が乗外に搬送されている状況を減らすためにも、各医療機関の体制を強化することは必須な状況である。
	周産期医療	小山記念病院(周産期救急医療協力病院)
	内住州区原	他の医療機関:白十字総合病院、葉山産婦人科、つばさクリニック
		神栖済生会病院(地域小児救急センター)
	小児救急医療	他の医療機関: 白十字総合病院、高須病院、鉾田病院、なめがた地域医療センター、小児科標榜診療所(41箇所)

問2 医師派遣要望について (1) 問に容赦え、医療圏としてR7年度に医師派遣が必要な病院・診療科・医師数及び医師派遣が必要な理由を記載してください。 医療圏全体の具体的なデータに基づき。医師派遣の必要性が落離的にわかるように記載してください。なお、理由記載にあたり使用する数値データ等の引用元を「参考資料・の機に記載のうえ、調査票とともに提出してください。

補正後の要望人数が4人(医師	少数区域の医療圏は5人				AUX ZEIMEL					
	診療科	政策医療分野			医師数			前年度	医師派遣が必要な理由	
病院名	ブルダウンで選択 (その他を選択した場合は 自由記載欄に科名を記載)	ブルダウン選択	R7.4.1 現員数	年度内增減 予定人数	派遣要望 a	補正対象 (該当に)	補正後 b=a×1/2	派遣要請有 (該当に)	(前年度派遣要請有で、地対協・大学からの医療圏に対する意見に 対応した事項がある場合には、当該意見とその対応状況も記載)	参考資料
本日の協議結果により記入。 記載内容は、各病院の個票	を基に転記・作成する。									
白十字総合病院	内科	救急医療	6	0	1				当院はケアミックス型(一般・地域包括ケア・療養)であり、三次救急医療機関等の後方 支援として、転院受入れた行っております。多くは高機能であることから内科の八烷患 着数が年や増加し、8年度は16節あたりの1日人尿患者数は19を3人(R6)でありました。内科常勤医は3名体制ではありますが、救急車対応、外来診療、病療管理でいっぱ におり、救免車の応需率低下の大きな要因となっております。原行地域では管分機送 が44%(R6)であり、管内での受入強化、収容率の上が強、望まれております。当院の 救急車受人保税は1656年(R6)、収容率としては8%であり、現状以上に救急車の所 需率向上を実現するためにも、内科常勤医の体制強化が必要です。	
鹿嶋ハートクリニック	循環器内科	救急医療	7.8	0	1				現在、全国的にいわゆる「心不全パンデミック」とも言われる状況が進行しており、飛行 地域においても循環機疾患の増加に対する対点が地域医療体制の大き鉄鍵となって います。とつわり、当該地域では個階機疾患の連進を着に対かできる医療資源が関わ れており、域外への機送が常態化しています。 当院は2024年1月に病院機能を拡充し、パイプリッド手術室を2室体制としましたが、医 師体制が整ひす状急手術を十分に受け入れることができない状況が続いています。こ のため、緊急性の高い疾患例、胎生大動脈解解・に対して迅速な治療が行えず、患 者の機送年に対命の機会を強する事例を発生しています。 こうした胃薬を含まれ、地域におり循環管疾患の施病病院として機能を強化し、患者 を域内で確実に受け入れる体制を構築することを目的として、循環器内科・心臓血管外 料・療剤中の医療派差を受難したにます。	
	合計							上限人数	以内であること(医療圏間での融通があった場合はこの限りでない)	

0

(3) (1)のほか、やむをえない理由により上限人数を超えて要望するもの、または(1)で診療科が重複する要望について、病院名、診療科、医師数、要望の優先順位及び医師派遣が必要な理由(上限を超える又は診療科が重複する理由も含む)を記載してください。 医療圏全体の具体的なデータに基づき、医師派遣の必要性が奮動的にわかるように記載してください。なお、理由記載にあたり使用する数値データ等の引用元を「参考資料、の機に記載のうえ、調査票とともに提出してください。 診療科の重複については再掲のうえ、重複する理由を記載してください。 優先順位が付いていない要望は不可。

	診療科 ブルダウンで選択	政策医療分野		医師数			前年度派遣要請	医師派遣が必要な理由 (上限人数を超える又は診療科が重複する理由も含む)	de de Made
病院名	(その他を選択した場合は 自由記載欄に科名を記載)	ブルダウン選択	R7.4.1 現員数	年度内增減 予定人数	派遣要望 a	優先順位	有 (該当に)	(前年度派遣を述る)(本部派遣代が重視) ではいばら) (前年度派遣事論有で、地対協・大学からの医療圏に対する意見に 対応した事項がある場合には、当該意見とその対応状況も記載)	参考資料

自由記載欄(その他、または表に記入できない場合)

色付きのセルに入力してください。

【回答者情報】 医療機関名 白十字総合病院

 担当者所属
 企画課

 担当者職氏名
 課長 池宮 毅

 電話番号(内線)

Eメールアドレス

(単位:人)

		Ι																		(単位:人)	T					$\overline{}$
		問1 图	医師数(編	総数)			問1 - (2) 增員(滅員)医師数 問1 - (3) 派進要望医師数									問2 専	門研修(の可否		問3 政	策医療	機能に係	る関連語	疹科	J	
				(1) 現員医師 .4.1.現在)	币数		問1 - (要望	(2) 増員 2時点で	員(減員) 把握して)医師数 ているもの))	問1 - (3)派遣要	要要医師	数					施設区分	が	脳	心血	救急	医周	小児
	診療科名	合計 A+B	常勤	非常勤	計(A)	うち 指導医	常勤	_	_	T 1	増員(減員)理由	常勤	非常勤	計(C)	うち専攻医 等可能数	派遣元(大学等) (希望がある場合)	- 研修可	基幹 施設	連携 施設	連携先の基幹施設	ĥ	卒中	管疾患	医療	医磨磨期	児 医 療
1	内科	6.0	5.0	1.0	6.0	2.0			0.0			1.0		1.0						工浦協同病院、次城県エ中央病院。東京医大茨城医療センター、第						
2	呼吸器内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
3	循環器内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
4	消化器内科(胃腸内科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
5	腎臓内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
6	神経内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
7	糖尿病内科(代謝内科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
8	血液内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
9	皮膚科	1.1	1.0	0.1	1.1				0.0					0.0												
10	アレルギー科	0.0			0.0				0.0					0.0												
11	リウマチ科	0.0			0.0				0.0					0.0												
12	感染症内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
13	小児科	1.6	1.0	0.6	1.6				0.0					0.0												
14	精神科	0.0			0.0				0.0					0.0												
15	心療内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
16	外科	5.7	5.0	0.7	5.7	3.0			0.0					0.0						筑波大学、筑波記念病院						
17	呼吸器外科	0.7		0.7	0.7				0.0					0.0												
18	心臓血管外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
19	乳腺外科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0												
20	気管食道外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
21	消化器外科(胃腸外科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
22	泌尿器科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0												
23	肛門外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
24	脳神経外科	1.9	1.0	0.9	1.9	1.0			0.0					0.0						日本大学						
25	整形外科	2.1	1.0	1.1	2.1				0.0			1		1.0												
26	形成外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
27	美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
28	眼科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0												
29	耳鼻咽喉科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0												
30	小児外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
31	産婦人科	1.5	1.0	0.5	1.5	1.0			0.0					0.0						土浦協同病院、筑波大学						
32	産科	0.0			0.0				0.0					0.0												
33	婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0												
34	リハビリテーション科	0.0			0.0				0.0					0.0												
35	放射線科	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0												
36	麻酔科	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0												
37	病理診断科	0.0			0.0				0.0					0.0												
38	臨床検査科	0.0			0.0				0.0					0.0												
39	救急科	0.0			0.0				0.0					0.0												
40	全科(総合診療科)	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0						東京女子医科大学病院						
41	その他(自由記載)	6.2	6.0	0.2	6.2				0.0					0.0												
	合計		24.0		30.9	7.0	0.0	0.0		0.0				2.0												=

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
304		154	40	90	20

色付きのセルに入力してください。

【回答者情報】 医療機関名 鹿行保健医療圏

担当者所属 神栖済生会病院、総務課 担当者職氏名 総務課長・宮内 隆史 電話番号(内線)

Eメールアドレス

(単位・人)

		T															I			(単位:人)	I					$\overline{}$
		問1	医師数(約	総数)			問1 - (3) 指員(減員)医師数 問1 - (3) 派遣要望医師数										問2 専	門研修(の可否		問3 政	策医療	機能に係	る関連記	诊療科	ļ
				(1) 現員医師 .4.1.現在)	币数		問1 -	(2) 増! 望時占で	員(減員)医師数 ているもの))	問1 - (3)派遣要	要望医師	数					施設区分	が	脳	心血管	救	_医 周	小児
	診療科名	合計 A+B	常勤	非常勤	計(A)	うち 指導医		非常勤			増員(減員)理由	常勤	非常勤	計(C)	うち専攻医 等可能数	派遣元(大学等) (希望がある場合)	- 研修可	基幹 施設	連携 施設	連携先の基幹施設	'n	卒 中	管疾患	急 医 療	医産療期	児 医 療
1	内科	2.3	2.0	0.3	2.3				0.0					0.0			0		0	筑波大学附属病院 他						
2	呼吸器内科	0.5		0.5	0.5				0.0			1		1.0												
3	循環器内科	3.1	3.0	0.1	3.1	1.0			0.0					0.0												
4	消化器内科(胃腸内科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
5	腎臓内科	0.7		0.7	0.7				0.0			1		1.0												
6	神経内科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0												
7	糖尿病内科(代謝内科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
8	血液内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
9	皮膚科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
10	アレルギー科	0.0			0.0				0.0					0.0												
11	リウマチ科	0.0			0.0				0.0					0.0												
12	感染症内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
13	小児科	5.8	5.0	0.8	5.8				0.0					0.0			0		0	順天堂大学医学部附属病院群						
14	精神科	0.0			0.0				0.0					0.0												
15	心療内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
16	外科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0			0		0	日本医科大学						
17	呼吸器外科	0.0		0.0	0.0				0.0					0.0												
18	心臓血管外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
19	乳腺外科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
20	気管食道外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
21	消化器外科(胃腸外科)	5.6	5.0	0.6	5.6	1.0			0.0					0.0			0		0	日本医科大学						
22	泌尿器科	2.3	2.0	0.3	2.3	1.0			0.0					0.0			0		0	日本医科大学						
23	肛門外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
24	脳神経外科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0												
25	整形外科	4.3	4.0	0.3	4.3	1.0			0.0					0.0			0		0	順天堂大学 他						
26	形成外科	1.4	1.0	0.4	1.4				0.0					0.0			0		Ō	日本医科大学 他						
27	美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
28	眼科	1.5	1.0	0.5	1.5				0.0					0.0												
29	耳鼻咽喉科	0.7		0.7	0.7				0.0					0.0												
30	小児外科	0.0		0.0	0.0				0.0					0.0												
31	産婦人科	0.0		2.0	0.0				0.0					0.0												
32	産科	0.0			0.0				0.0					0.0												
33	婦人科	0.5		0.5					0.0					0.0												
34	リハビリテーション科	0.0			0.0				0.0					0.0												
35	放射線科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0												
36	麻酔科	1.2	1.0	0.2	1.2	1.0			0.0					0.0			0		0	筑波大学附属病院						
37	病理診断科	0.0		U.E.	0.0	0			0.0					0.0			Ŭ									
38	臨床検査科	0.0			0.0				0.0					0.0												
39	救急科	0.5		0.5	0.5				0.0					0.0												
40	全科(総合診療科)	7.6	6.0	0.6	6.6	_	1.0		1.0		医局派遣			0.0			0		0	筑波大学附属病院 他					\vdash	
41	その他(自由記載)	1.1	1.0	0.0	1.1	1.0	1.0		0.0					0.0			\vdash									
	合計	_	31.0		39.3	6.0	1.0	0.0		0.0				2.0												=
	H PI	40.3	31.0	0.3	33.3	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0		1	1	۷.۷			1	ı I		I						l.

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
179		179			

色付きのセルに入力してください。

[回答者情報] 医療機関名 小山記念病院 担当者所属 本部事務局 担当者職氏名 事務長 花香 淳一 電話番号(内線)

(単位:人)

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			問1 图	医師数(約	総数)													問2 専	門研修	の可否	(単位.人)	問3 政	策医療	機能に係	る関連語	診療科	
時間時代 1.0 1				問1 - (R7	(1) 現員医的	師数		問1 (要	- (2) 増算 望時点で	員(減員)医師数	ת)	問1 - (3)派遣要	望医師	数					施設区分	が				医周	小児
1		診療科名	合計 A+B			計(A)	うち 指導医		1 1		うち		常勤	非常勤	計(C)			- 研修可	基幹 施設	連携 施設	連携先の基幹施設			疾	医	療期	児 医療
3	1	内科		4.0	0.4	4.4	_			0.0					0.0		,,				筑波大学				0		
4 所任的所は関係的に 74 80 14 74 20 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	2	呼吸器内科	3.7	3.0	0.7	3.7				0.0					0.0							0			0		
5 発展時件 38 30 30 06 38 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	3							1.0		1.0		減員…昭和大学からの派遣			0.0						昭和大学	_	0	0			
日 神経神経 0.1 0.1 0.1 0.1 0.0 0.0 月番1音科子がらの選集 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.							_															0					
7 個原物内(代謝内料) 3.6 2.0 0.6 2.5 1.0 1.0 1.0 開催				3.0									2												0		
日本の中代に、日本の中では、日本の中で	6	神経内科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
9 次解件 00			3.6	2.0	0.6	2.6	1.0	1.0		1.0		増員1否林大学からの派遣 減員2昭和大学、茨城県立中央病院からの派遣			0.0										0		
10 アルギー科 00 0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 11 11										_																	
11 11 11 11 11 11 11 1																											
12 多条金内料 0.0 0																											
13 小児科 20 20 20 20 00 00 00 0									\vdash																		
14																									\longrightarrow		
15				2.0																							
16																		1							\longrightarrow		\blacksquare
17 呼吸型外科 0.1 0.1 0.1 0.0																		1			****						
18				5.0					-									1			省林人子、巩波人子						-
19									-									1				O					-
20 気管変速外科 0.0				1.0					-															0			-
21 消化器外科(胃腸外科) 0.0 <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>0.1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>				1.0	0.1			1	-									1				0					
22 遠保軽料 52 40 12 52 20 00 00 00 00 00 0								1	+									1				0					=
23 肛門外科 0.0 0.				4.0	12																筑波大学	_					
24 脳神経外科 6.7 6.0 0.7 6.7 4.0 0.0 0.0																						Ť					
25 整形外科 40 30 1.0 40 00 00 00 00 00 00				6.0	0.7																杏林大学、筑波大学		0	0	Ω		
26 形成外料 1.9 1.0 0.9 1.9 0.0 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>杏林大学</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>							_														杏林大学						
28 眼科		形成外科	1.9	1.0	0.9	1.9				0.0					0.0												
29 耳鼻咽喉科 0.0 <t< td=""><td></td><td>美容外科</td><td>0.0</td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>		美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
30 小児外科 00 00 00 00 00 00 00			1.3	1.0	0.3	1.3				0.0					0.0												
31 産婦人科 82 7.0 1.2 82 1.0 0.0 0.0 0.0 ○		耳鼻咽喉科	0.0			0.0				0.0					0.0												
32 産科 0.0 0															0.0												
33 婦人科 0.0				7.0	1.2		1.0								0.0						杏林大学、筑波大学	0					
34 リハビリテーション科 0.1 0.1 0.0 0.0 35 放射線科 1.7 1.0 0.7 1.7 0.0 36 麻酔科 7.3 6.0 1.3 7.3 3.0 0.0 0.0 37 病理診断科 0.0 0.0 0.0 0.0 38 臨床検査科 0.0 0.0 0.0 39 救急科 3.0 3.0 3.0 0.0 40 全科(総合診療科) 0.0 0.0 0.0																											
35 放射線料																						0			0	0	
36 麻酔科 7.3 6.0 1.3 7.3 3.0 0.0 37 病理修断科 0.0 0.0 0.0 0.0 38 臨床検查科 0.0 0.0 0.0 39 救急科 3.0 3.0 0.0 0.0 0.0 40 全科(総合診療科) 0.0 0.0 0.0 0.0									\vdash																		
37 病理診断科 0.0 0.0 0.0 0.0 38 臨床検査科 0.0 0.0 0.0 0.0 39 救急科 3.0 3.0 3.0 0.0 0.0 ○							L_		\vdash													_		0			
38 臨床検査科 0.0 0.0 0.0 0.0 39 救急科 3.0 3.0 0.0 0.0 ○				6.0	1.3		3.0		\vdash													O	O		O	O	
39 敷急科 3.0 3.0 3.0 0.0 0.0 0.0 可以 可以 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+-</td> <td></td>									+-																		
40 全科(総合診療科) 0.0 0.0 0.0				0.0				1										0		_	在油土						
				3.0					\vdash									0		O	巩波人子	O	0	O	U	O	
1.41 至の他(日中記載) 1.721 601 021 621 1.401 1.401 [報告]	40	全科(総合診療科) その他(自由記載)	7.3	6.0	0.2		_	1.0	+-	1.0		減員			0.0			-									
41 その他(自由記載) 7.3 6.0 0.3 6.3 1.0 1.0 減員 合計 87.4 70.0 14.4 84.4 14.0 3.0 0.0 2.0	41										0.0	/ /5.只															

問4	今和6年度病床機能報告	今和6年7日	1日租在)における	5病床数を記載してください	

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
224	37	157	30	0	0

色付きのセルに入力してください。

 [回答者情報]
 <u>医療機関名</u>
 鹿嶋ハートクリニック

 担当者所属
 事業推進課

Eメールアドレス

(単位:人)

		問1 [医師数(総数)													問2 専	門研修	の可否	(単位:人 :		対策医療	機能に係	る関連記	疹 療科	
				(1) 現員医的 .4.1.現在)	師数		問1 - (要)	·(2) 増 望時点で	員(減員 *把握し)医師数 こいるもの	D)	問1 - (3)派遣要	要望医師	数		TT 40 =T			施設区分	が	脳卒	心血管	救急	医療期	小児
	診療科名	合計 A+B	常勤	非常勤	計(A)	うち 指導医	常勤	非常勤	計(B)	うち 指導医	増員(減員)理由	常勤	非常勤	計(C)	うち専攻医 等可能数	派遣元(大学等) (希望がある場合)	- 研修可	基幹 施設	連携 施設	連携先の基幹施設	ю	中	疾患	<u>医</u> 療	療期	児 医 療
1	内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
2	呼吸器内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
3	循環器内科	7.8	6.0	1.8	7.8				0.0			1		1.0						帝京大学医学部附属病院						
4	消化器内科(胃腸内科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
5	腎臓内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
6	神経内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
7	糖尿病内科(代謝内科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
8	血液内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
9	皮膚科	0.0			0.0				0.0					0.0												
10	アレルギー科	0.0			0.0				0.0					0.0												
11	リウマチ科	0.0			0.0				0.0					0.0												
12	感染症内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
13	小児科	0.0			0.0				0.0					0.0												
14	精神科	0.0			0.0				0.0					0.0												
15	心療内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
16	外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
17	呼吸器外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
18	心臓血管外科	3.0	3.0		3.0				0.0			1		1.0						昭和医科大学江東豊洲病院						
19	乳腺外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
20	気管食道外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
21	消化器外科(胃腸外科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
22	泌尿器科	0.0			0.0				0.0					0.0												
23	肛門外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
24	脳神経外科	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0												
25	整形外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
26	形成外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
27	美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
28	眼科	0.0			0.0				0.0					0.0												
29	耳鼻咽喉科	0.0			0.0				0.0					0.0												
30	小児外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
31	産婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0												
32	産科	0.0			0.0				0.0					0.0												
33	婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0												
34	リハビリテーション科	0.0			0.0				0.0					0.0												
35	放射線科	0.0			0.0				0.0					0.0												
36	麻酔科	0.0			0.0				0.0					0.0												
37	病理診断科	0.0			0.0				0.0					0.0												
38	臨床検査科	0.0			0.0				0.0					0.0												
39	救急科	0.0			0.0				0.0					0.0												
40	全科(総合診療科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
41	その他(自由記載)	0.0			0.0				0.0					0.0												
Ħ	合計		10.0	18		0.0	0.0	0.0		0.0		Ì		2.0							1		•			=
	1 1 1 1 1		,																							

٠, ٠	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19	19				

色付きのセルに入力してください。

[回答者情報] <u>医療機関名</u> 医療法人三尚会 高須病院 担当者所属 事務局

 担当者所属
 事務局

 担当者職氏名
 統括事務長 伊藤 善朗

 電話番号(内線)

Eメールアドレス

(単位:人)

																	I			(単位:人)	1					$\overline{}$
		問1 图	医師数(編	総数)													問2 専	門研修(の可否		問3 政	策医療	機能に係	る関連記	诊療科	
				(1) 現員医師 .4.1.現在)	币数		問1 -	(2) 増加 2時占で	員(減員))医師数 こいるもの))	問1 - (3)派遣要	望医師	数					施設区分	が	脳	心血管	救急	_医 周	小旧
	診療科名	合計 A+B	常勤	非常勤	計(A)	うち 指導医		非常勤		うち 指導医	増員(減員)理由	常勤	非常勤	計(C)	うち専攻医 等可能数	派遣元(大学等) (希望がある場合)	研修可	基幹 施設	連携 施設	連携先の基幹施設	<i>h</i>	卒 中	管疾患	医療	居 医産 療期	児 医 療
1	内科	1.0	1.0		1.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0			0.0												
2	呼吸器内科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
3	循環器内科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0												
4	消化器内科(胃腸内科)	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
5	腎臓内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
6	神経内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
7	糖尿病内科(代謝内科)	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0												
8	血液内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
9	皮膚科	0.0			0.0				0.0					0.0												
10	アレルギー科	0.0			0.0				0.0					0.0												
11	リウマチ科	0.0			0.0				0.0					0.0												
12	感染症内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
13	小児科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0												
14	精神科	0.0			0.0				0.0					0.0												
15	心療内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
16	外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
17	呼吸器外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
18	心臓血管外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
19	乳腺外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
20	気管食道外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
21	消化器外科(胃腸外科)	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
22	泌尿器科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0												
23	肛門外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
24	脳神経外科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
25	整形外科	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0												
26	形成外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
27	美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
28	眼科	0.0			0.0				0.0					0.0												
29	耳鼻咽喉科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
30	小児外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
31	産婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0												
32	産科	0.0			0.0				0.0					0.0												
33	婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0												
34	リハビリテーション科	0.0			0.0				0.0					0.0												
35	放射線科	0.0			0.0				0.0					0.0												
36	麻酔科	0.0			0.0				0.0					0.0												
37	病理診断科	0.0			0.0				0.0					0.0												
38	臨床検査科	0.0			0.0				0.0					0.0												
39	救急科	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0												
40	全科(総合診療科)	1.3	1.0	0.3	1.3				0.0					0.0												
41	その他(自由記載)	0.0			0.0				0.0					0.0												
	合計	5.3	3.0	2.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0												

•	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	55		55			

色付きのセルに入力してください。

【回答者情報】 医療機関名 医療法人 東湖会 鉾田病院

 担当者所属
 事務長

 担当者職氏名
 栗股 巧

 電話番号(内線)

Eメールアドレス

(単位:人)

「大きの			問1 [医師数(総数)													問2 専	門研修	の可否	(単位:人)	問3 政	対策医療	機能に係	る関連記	疹科	
						币数		問1 -	·(2) 増 望時点で	員(減員)医師数 ているもの	D)	問1 - (3)派遣要	要望医師	数				ı	施設区分	が		m		医周	小児
2		診療科名	合計 A+B	 		計(A)	うち 指導医					•	常勤	非常勤	計(C)	うち専攻医 等可能数	派遣元(大学等) (希望がある場合)	- 研修可	基幹 施設	連携施設	連携先の基幹施設			疾	医	療期	医療
3 機構的科 0.7 0.7 0.7 0.7 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	1		1.3	1.0	0.3	1.3				0.0					0.0						bbb						
1	2	呼吸器内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
5 機能所料 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0	3	循環器内科	0.7		0.7	0.7				0.0					0.0												
特別の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	4	消化器内科(胃腸内科)	0.3		0.3	0.3				0.0					0.0												
Respirate (5	腎臓内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
8 画成材料 00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6	神経内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
9 皮膚科 02 02 02 02 00 <t< td=""><td>7</td><td>糖尿病内科(代謝内科)</td><td>0.0</td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	7	糖尿病内科(代謝内科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
7 レルギー科 0.0	8	血液内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
11	9	皮膚科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0												
22 一部度的料	10	アレルギー科	0.0			0.0				0.0					0.0												
13 小児科 1.5	11	リウマチ科	0.0			0.0				0.0					0.0												
精神性 0.0 0.	12	感染症内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
15	13	小児科	1.5		1.5	1.5				0.0					0.0												
9月	14	精神科	0.0			0.0				0.0					0.0												
呼吸器外科 0.0	15	心療内科	0.0			0.0				0.0					0.0												
18	16	外科	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0												
19 乳酸料料 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	17	呼吸器外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
20 気管食過外料 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	18	心臓血管外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
7	19	乳腺外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
22 泌尿器科 0.0 0.	20	気管食道外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
肛門外科 00 00 00 00 00 00 00	21	消化器外科(胃腸外科)	0.0			0.0				0.0					0.0												
24 脳神経外科 0.1 0.1 0.0 <t< td=""><td>22</td><td>泌尿器科</td><td>0.0</td><td></td><td>0.0</td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	22	泌尿器科	0.0		0.0	0.0				0.0					0.0												
25 整形外科 1.0 1.0 1.0 1.0 0.0 <td< td=""><td>23</td><td>肛門外科</td><td>0.0</td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	23	肛門外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
26 形成外科 0.0 <td< td=""><td>24</td><td>脳神経外科</td><td>0.1</td><td></td><td>0.1</td><td>0.1</td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	24	脳神経外科	0.1		0.1	0.1				0.0					0.0												
27 美容外科 0.0 </td <td>25</td> <td>整形外科</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td></td>	25	整形外科	1.0	1.0		1.0				0.0					0.0												
BB科	26	形成外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
29 耳鼻咽喉科 0.2 0.2 0.0	27	美容外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
30 小児外科 0.0	28	眼科	1.1	1.0	0.1	1.1				0.0					0.0												
31 産婦人科 0.0 <th< td=""><td>29</td><td>耳鼻咽喉科</td><td>0.2</td><td></td><td>0.2</td><td>0.2</td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></th<>	29	耳鼻咽喉科	0.2		0.2	0.2				0.0					0.0												
32 産科 0.0 0	30	小児外科	0.0			0.0				0.0					0.0												
33 婦人科 0.0	31	産婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0												
34 リハビリテーション科 0.0 <t< td=""><td>32</td><td>産科</td><td>0.0</td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	32	産科	0.0			0.0				0.0					0.0												
放射線科 0.0 0	33	婦人科	0.0			0.0				0.0					0.0												
36 麻酔科 0.4 0.4 0.4 0.4 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	34	リハビリテーション科	0.0			0.0				0.0					0.0												
37 病理診断科 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	35	放射線科	0.0			0.0				0.0					0.0												
38 臨床検査科 0.0	36	麻酔科	0.4		0.4	0.4				0.0					0.0												
39	37	病理診断科	0.0			0.0				0.0					0.0												
40 全科(総合診療科) 0.0 <td< td=""><td>38</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	38					0.0																					
40 全科(総合診療科) 0.0 0.0 0.0 0.0 41 その他(自由記載) 0.0 0.0 0.0	39	救急科	0.0			0.0				0.0					0.0												
41 その他(自由記載) 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	40	全科(総合診療科)	0.0			0.0				0.0																	
合計 7.6 4.0 3.6 7.6 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	41	その他(自由記載)	0.0			0.0				0.0					0.0												
		合計	7.6	4.0	3.6	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0									_			

合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
60		60			

a,要望医療機関名	白十字総合病院	:					担当	者	所属 氏名	企画課 池宮 毅	ž		連絡先	電話 Mail											
いた事をかせてかまり	41			4.1時点の医師数		常勤	5		の採用(人)	(1)	5	运 事 - の	d ±D												
b,派遣を求める診療科	内科		1	作常勤は、常勤換! 人数とすること	异(0)	非常勤	1		デからの派遣(Eの内訳	(人)		派遣元の	内訳												
c,派遣要望人数	常勤	1.0	希望	望する医師のクラン	7 44	厚攻医クラス 		派	(遺医師に求	める	***	· — \		EL 44 140 124 444	6 TD # 4	m جنم طول منبور المياد	H								
非常勤は、常勤換算の人数とすること	非常勤		-	該当に	-	専門医クラス 指導医クラス			資格、技術等		拟急对心	(二次教記	3)、二次	拟 思搬达寺(の迅速な	判断、病棟管理、タ	小米診療								
	減員補充					> 5 7 FU / 1	áπ i⊫i+⊬	7+T 4-	7 (中華) マナ	12 — \A-f	1.4 E E	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· 	1 = = n = n	アンセナジ		/	~+ 7 - l. 4\	2 4 51 6		У С				
d.要望の主な目的 該当に	体制強化			的な要望理由、 遣の必要性	年度は1医的	师あたりの1日	入院患者	数は19	9.6人(R6)であ	ありました	。内科常勤	加医は5名	体制では	ありますが、	救急車対	テっております。多。 対応、外来診療、病 :す。当院の救急車	棟管理でで	ひっ迫してお	り、救急車	の応需率低	下の大きな要因と				
	拠点形成その他		- "	A STATE OF THE STA		応需率向上を								カ風(主め)		, , , <u> </u>	-2/(11301	G 1000 (11	·/ 4X LI -	20 21000					
e,要望人数の根拠	「d.要望の主な目 ができます。	的」にお	示しし た ì	通り、医師不足の	状況でありま	す。現在の1回	医師あたり	の1日	入院患者数1	9.6人に対	寸し、1名増	員の場合	17.2人と	試算しており)ます。これ	れにより現在のひっ	っ迫している	る状況が緩和	口され、救急	急車の応需率	4向上を見込むこと				
f.前年度の地対協・大学からの意見に			前年度	を できます といま といま とうない とうない とうない かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう はい かいしゅう はい しゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう																					
対する対応状況等 前年度、地対協から大学等へ派遣 要請を行ったものの、結果的に配置が	前年度派遣要 請の有無		<u> </u>	からの意見																					
実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載	該当に〇			!意見に対する 対応状況等																					
	可(基幹施設)			主な連携施設名																					
g,専門研修の可否	可(連携施設) 可(関連施設)			基幹施設名基幹施設名																					
内科・外科はサブスペ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に	J (11/1/2021)				プロ	コグラムを作成	以 中																		
	不可			今後の予定	-	尊医を確保・養				備考	県内の4症	病院につい	ハてプログ	ラムの連携	あり(土浦	協同病院、茨城県	立中央病	院、東京医力	、茨城医療	センター、労	波記念病院)				
	公存いの志明	4 L I = 10	+> 7 +¢ 11	/ P 1 / / A A D PR		コグラムの作品			10 H = 1 + +	1 +12	****	* 1.7.7.4	THE A	~ * * E TI	16 A 184-	14-40-71 \ 7 \ \\ \(\text{Pc}\)	*C*##088+	n 200 + 42 FT / F		7					
h,取得可能な資格 	・診療科の専門	生とは美	なるか、≘	部元では健診部門	の允美を図る	20円に、専門	的座業医	で成ノ	ログラムを何	しており、	伸怬巾に	あいては	週木集中	C座業医研	修会か行	われている。当院	冰追期间中	で真恰取信	手可能でめ.	٥, 					
i,派遣医師の具体的な業務	・派遣医師には、	救急車対	対応、一角	设外来業務、入院: 	患者主治医、	全科当直また	、内科力	ンファレ	ンスはもとよ	り、全科な	カンファレン	/スでの意	見交換お	よびアドバイ	イザー的行	殳割も期待している 	5 .								
j,医師派遣による効果	の派遣要請の最 た状況の改善が 機関をはじめとし	大の目的図れるも	りが救急! のと考え の医療機!	る。当地域におい 関への搬送増加か	が悪念。d.「要望 ては、休日・7 が懸念される「	望理由」で記し 変間に初期救 中で、救急体制	た状況に 急を対応 制強化が	対し内 する開 必須と ³	科医師の派遣 業医不足もあ 考える。(鹿行	貴による素 るため、	対急搬送受 やむを得す	け入れの 『軽症患者	拡大がで が二次ず	きると考えて 女急医療機関	関を直接党	受診する傾向もある	Eたる要因I S、また 高値	は医師体制 ^は 験化に伴う教	不足のため (急搬送の)であり、 医6 増加等によ [!]	・今般 「派遣によりこうし 」、三次救急医療				
外来患者数	R 2 136,408		R 3 2,776	R 4 133,233	R 5 131,871		R 6 B,483	派運	豊後の見込 138,000					左の根拠 D人(回復期病棟を含む)。救急応需率向上のため、50%程度を見込む。 悪の患者数割合を 救急搬送件数に乗じて算出(R5年度ベース) 入が可能となる見込み。 お断り件数に乗じ、 の増数見込み分程度を目安として差し引いて算出。											
うち要望診療科関係	41,903	41	,069	42,114	39,081	38,	,713		43,000	内科医鼠	師数(常勤	·非常勤)	より算出。		と考えている。救急要請不応需の主たる要因は医師体制不足のためであり、医師派遣によりご 医療機関を直接受診する傾向もある、また 高齢化に伴う救急搬送の増加等により、三次救急医)の解消) 左の根拠 (回復期病棟を含む)。救急応需率向上のため、50%程度を見込む。 の患者数割合を 救急搬送件数に乗じて算出(R5年度ペース) が可能となる見込み。										
うち要望診療科関係	83,085 58,540		3,077	78,792 57,869	75,566 56,119		,120		80,000 60,000	内科常	勧医師5名	1名あた	り約10,00	0人(回復期	医研修会が行われている。当院派遣期間中に資格取得可能である。 ドバイザー的役割も期待している。 ・										
救急搬送件数	1,635	-	,533	1,664	1,387		605				-タ:「疾患	別患者数	の内科	疾患の患者	数割合を	救急搬送件数に	乗じて算出	(R5年度べ	ース)						
うち要望診療科関係	287	2	274	252	232	3	10		460	要望記	診療科のう	ち、150件	程度の受	入が可能と	なる見込	み。									
救急お断り件数	694		,038	1,893	1,685		475		1,300	救急 救急	般送件数の	要望診療	(科割合を	ま お断り件	数に乗じ	、の増数見込み	分程度を目	安として差	し引いて算	出。					
うち要望診療科関係 手術件数	122 690		185 599	287 545	281 478		15		160																
うち要望診療科関係																									
医師1人あたり時間外労働時間	32		32	32	32		32																		
うち要望診療科関係 ()	32	;	32	32	32	3	32			_															
その他、診療体制等	高齢者の救急や	入院が年	手々増加!	しており、合併症を	有しているた	:め、幅広い症	例に対応	っ できる	内科医に加オ	つっていた	:だくことは	、地域の	救急医療	体制の強化	につなが	ると考えております	-,								
	HPやハローワ			5掲出			٧ ٠	= '# = -	z + _ + + +	t th A. I	売詰さない	ナルフが	海海に	ナダーていか	21.1										
k,自院での医師確保の取組状況 該当に	派遣元大学医 自院医師等の			た働きかけ		経過· 現状等	1ÆFIJIC/II	以追儿(しめりに八子で	조꾸/아(C3	女嗣で続け	CNSA		4主り (いる	¥ V 1 ₀										
	その他						医師紹介	个会社(の活用。																
I,看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画	・夜勤可の看護的	師に一部	不足ある	ため併設看護専門	学校のみな	らず他方面か	らの採用	を強化	している。また	た、医師の	D負担軽減	に資する	ため医師	事務作業補	助者の配	置あり。									
m,手術室、ICU、CT·MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備 計画	・手術室整備(バ	イオクリ	ーンルー.	ムあり・専従スタッ	フあり)。CT([64列]。MRI(1	1.5T)。内 [:]	視鏡検	查室、透視検	食査室あり	(専従スタ	ッフあり)													
n,他の診療科との連携体制	内科系および外	科系での	連携は密	宮に行っている。整	形外科等は	入院時より内和	科によるコ	ンサル	/トを行うこと!	こより、複	数主治医院	制を採用し	しておりま	す。											
	取得済		取得日			2024/2/	/9																		
o,宿日直許可の取得状況 該当に	取得予定			定日及び進捗状況	2																				
	取得予定なし なし(A水準)		理由等					1					1												
	なり(A水準) 特定地域医療提	供機関(B水準)				申請の	èm	【共通】	医師の労	分働時間短	縮計画作	成	[‡	共通]評価	iセンターの評価受	審	時間外等	の時間数を	を記載したプ	ログラム申請				
p,特定労務管理対象機関の指定予定 該当に	連携型特定地域					該当	i・進捗状 iに 及び 等を記載													查·技能研修	計画の審査				
	技能向上集中研特定高度技能研						水準以外	1	作成済		作成日 完成予定			申請済申請											
	行还同及汉能训	多 放 天 (_) 舎(敷地内)					宿舎は実質的	負担なしば	時期 こて利用可			準備中		時期		中前 广		時期					
				舎(敷地外)			.																		
q,生活環境 該当に	宿舎の有無		借上宿往			単身 /	舎の月額、 世帯用の 可能室数)別、)						その他の 生活環境 支援											
			その他			八点,	引能主奴	T.						支援											
			なし						Deb																
r,子育て支援			あり 系列保証	育園		使1979	育体制等	ŀ	院内保育所で		料の補助			その他の											
「、于育で支援 一該当に	院内保育所		その他			該当	日体制寺		その他					子育て支 援	時短勤剂	第可 当直等へ	の配慮								
			なし						なし	_															
s,その他の福利厚生	医療費返還/療	養休暇制	度/職員1	食堂あり。女性医師	師が安心して	勤務できるよ	うに休憩室	室、更才	マママ シャワー	-室、当直	室の整備	あり。													
	役職			資格等		年に			就業時			当直		オンコー		勤務日数		休日		備者					
t,派遣医師の待遇(常勤)	(例)消化器内	科部長	洋	当化器内視鏡指導	医	1,500万円(手当含む)	8:30 ~ 1	7:00	有	2回/月		有 2回	回/週	週5日	日曜	翟/祝日	赴任手旨	当、住居手当	、学会参加費 等				
	勤務曜日	3		勤務形態		勤務日	時間				¥	游内容				給与	交	通費		備老	¥				
u,派遣医師の待遇(非常勤)	(例)月、水	、金		日勤(終日)		9:00 ~	17:00				外来	、病棟管	理			100,000円/回	別	途支給	週2~3日0	の勤務希望、会	分割(AM·PM)勤務□				
v,自由記載				より、月の業務時 プセンターを設置。)と密に情	報交換	 ぬが可能。 社会	会医学系	専門医プロ	グラム基	幹施設。	事攻医在籍。											

a,要望医療機関名	白十字総合病院	:					担当	者	所属 氏名	企画課 池宮 象	·设		連絡先	電話 Mail											
				4.1時点の医師数		常勤	1 -		の採用(人)		1														
b,派遣を求める診療科	整形外科	4	1	作常勤は、常勤換! 人数とすること	├	非常勤	-		からの派遣の内訳	(人)		派遣元の	内訳												
c,派遣要望人数	常勤	1.0			専	攻医クラス																			
非常勤は、常勤換算の人数とすること		1.0	希望	望する医師のクラン 該当に	导	門医クラス			遺医師に求 資格、技術等		救急対応	(二次救急	(1)、三次	救急医療機同	関等の迅	速な判断、病棟管	理、手術、:	外来診療							
	非常勤減員補充				指:	導医クラス																			
d.要望の主な目的	体制強化		且体的	的な要望理由、	鹿行地域では	は救急搬送要	語に対し も急搬送票	て、管タ	外搬送が40%	6を超えて 不足の理	こおり、管内	での受入	強化、収	容率向上が	、強く望まれ いてはやる	れております。 当院 むを得ず不応需と	は鹿島臨済	毎工業地帯 が多い状況	こ立地してです。また	おり、労働の	後害や交通外傷₹ ₹倒などによるぬ				
該当に	拠点形成			遣の必要性	急要請(骨折形外科常勤医	症例)も増加	1しておりま	きすが、	常勤医師1名	ろという体	制のため、	手術や処	置中など	の理由で不	応需とな	るケースも多い状	況です。管	内での受入	強化、収容	率向上を実	現するためにも				
	その他																								
e,要望人数の根拠	常勤医2名体制と	となること	で、救急	受人や手術対応な	などを柔軟に行	うことが可能	となるた 8	め、救急	急搬送要請に	対して管	対での受力	入強化、収	【容率向_	上図ることが	゚゚できます。										
f.前年度の地対協·大学からの意見に 対する対応状況等	前年度派遣要			その地対協・大学 からの意見																					
前年度、地対協から大学等へ派遣要請を行ったものの、結果的に配置が	請の有無 該当に〇		上記	急見に対する																					
実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載			Ż	付応状況等																					
	可(基幹施設) 可(連携施設)			主な連携施設名 基幹施設名																					
g,専門研修の可否	可(関連施設)			基幹施設名																					
内科·外科はサブスペ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に					プロ・	グラムを作成	戊中																		
	不可			今後の予定		医を確保 巻 グラムの作品				備考															
, TTI/E T 4K + VE + b	****・********************************	サレ(ナ田)	+> 7 +1° 11						'n#= / + +	ニースカル	**************************************	カロテは	用士集力	李光医 可	ゆみがこ	たたていて 半度	泛生如用力	¬ !— >欠 +々 耳17 45	三化った	7					
h _. 取得可能な資格 	・診療科の専門	生とは美々	なるか、≘	部元では健診部門	の允美を凶るの	と共に、専門	的座業医	徴以ノ	ログラムを信	しており.	、伸伵巾に	あいては	過木栗中	() 座亲医研	修会かけ	われている。当院	冰運期间中	で真恰取信	手可能でめ	5 ,					
i,派遣医師の具体的な業務	·救急車対応、一	般外来	業務、入降	完患者主治医、手	術対応、全科論	当直。常勤医	師1名体制	制という	観点から、打	旨導医レ/	ベルの派遣	を期待して	ているもの	つです 。											
j,医師派遣による効果	今般の派遣要請よりこうした状況	の最大の の改善か	の目的がす が図れるも	らのと考える。 当地]上である。d.「 域においては、	要望理由」で 休日・夜間	『記した状》 に初期救命	況に対 急を対ル	し整形外科® 応する開業®	医師の派:	遣による救 するため、ヤ	急搬送受	け入れの 軽症患者	拡大ができ が二次救急	息医療機関	を直接受診する	下応需の主 頃向もある、	たる要因は[また 高齢イ	医師体制7 とに伴う救	を足のためて 急搬送の増	あり、医師派遣 加等により、三が				
A 女皇老#6	R 2 136,408		R 3 2,776	R 4 133,233	R 5 131,871		R 6 B.483	派遣	置後の見込 138,000	N I						左の根拠									
外来患者数 うち要望診療科関係	14,880		3,823	13,458	12,695		,172		18,000	整形外	科医師数(常勤·非常	(動) より	算出。											
入院患者数	83,085),181	78,792	75,566		,120		82,000	東女立かり	科学勒压 4	タホたロが	56 500 L	/ 同復期疾婦	大ができると考えている。教急要請不応需の主たる要因は医師体制不足のためであり。医師派遣二次教急医療機関を直接受診する傾向もある。また 高齢化に伴う教急搬送の増加等により、三3 (520件(R6)の解消) 左の根拠 「人養期病棟含む)。 「後期病棟含む)。 「後悪の患者数割合を 教急搬送件数に乗じて算出(R5年度ベース)。 が可能となる見込み。 お断り件数に乗じ、 の増数見込み分程度を目安として差し引いて算出。 「2.10事出。 「2.10事件の時間数を記載したプログラム申請についての事情を表現したプログラム申請についての事情を表現したプログラム申請についての事情を表現したプログラム申請についてあり、 「と2.0事金」教育研修環境の審査 技能研修計画の審査										
うち要望診療科関係	8,693	-	,428	7,216	6,676	6,6	604		13,000)															
救急搬送件数 うち要望診療科関係	1,635 179		,533 176	1,664 153	1,387		605 49		1,700								数に乗じて	算出(R5年	度ベース)						
対急お断り件数	694		,038	1,893	1,685		475		1,370)															
うち要望診療科関係	76	1	119	174	101	1:	32		30	教急技	搬送件数の)要望診療	科割合を	き お断り件	数に乗じ、	の増数見込み	分程度を目	安として差	し引いて算	出。					
手術件数	690		599	545	478		10		610	要望診	療科実績(R4 ~ R6) 0	の平均件	数より算出。											
うち要望診療科関係 医師1人あたり時間外労働時間	141 32		131 32	112 32	97		19 32		220)															
うち要望診療科関係	32		32	32	32		32																		
()																									
その他、診療体制等	高齢者の救急や	入院が年	手々増加!	しております。整形	外科医の増員	は、地域の	救急医療ſ	体制の	強化につなが	がると考え	えております	ι .													
	HPやハローワ			5掲出			~ ~ ~ ~	:		+ > I1	正 * : - / 		`E\#!	+T - T 1 +											
k,自院での医師確保の取組状況 該当に	派遣元大学医 自院医師等の			た働きかけ		延 経過· 現状等	促削に派	X追兀 C	このつに入子・	を中心に	安丽を続け	CHON	派追に	よ主っていな	LU 1 ₀										
	その他						医師紹介	`会社σ	の活用。																
 ,看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画	・夜勤可の看護的	師に一部	不足ある	ため併設看護専門	見学校のみなら	ず他方面か	らの採用を	を強化し	している。また	た、医師の	の負担軽減	に資する	ため医師	事務作業補	助者の配	置あり。									
m.手術室、ICU、CT·MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備 計画	・手術室整備(バ	゚゚゚゚゙゙イオクリ・	ーンルー.	ムあり・専従スタッ	フあり)。CT(6	4列)。MRI(1	1.5T)。内补	視鏡検	査室、透視核	食査室あり)(専従スタ	ッフあり)													
n,他の診療科との連携体制	· 整形外科等(+)	入院時上	り内科医	師によるコンサル	トを行うことに「	こり、複数士	治医制を均	采用して	ております																
THE STATE OF THE S		1,,,,,,,			2,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			.,,,,,,																	
o,宿日直許可の取得状況 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	取得済 取得予定		取得日取得予算	定日及び進捗状況	2	2024/2/	7 9																		
該当に	取得予定なし		理由等																						
	なし(A水準) 特定地域医療提	/++ +++ == ·	D-1/4				申請の		111	医红子"		· 佐兰 — "	ct		+:=:	+\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	- <u>-</u>			記載したブ	ログラム申請				
p.特定労務管理対象機関の指定予定	特定地域医療提連携型特定地域			携B水準)		準備	中頭の 前·進捗状》 iに 及び		【共进】	医師のえ	労働時間短	AM aT 凹 T F.	DX.	1+	代理】評1叫	センターの評価支	普	【C-2の場	合】						
該当に	技能向上集中研	修機関(C-1水準)			等を記載 水準以外】	-	作成済		作成日			申請済		申請日		申請済		申請日					
	特定高度技能研	修機関(_						作成中		完成予定 時期			申請 準備中		申請予定 時期		申請予定		申請予定時期					
				舎(敷地内)				3	宿舎は実質	負担なり	にて利用可														
q,生活環境			借上宿?	舎(敷地外) 舎			舎の月額、							その他の											
該当に	宿舎の有無		住宅手	当			世帯用の 可能室数							生活環境 支援											
			その他																						
			なし あり					1	院内保育所	で対応															
r,子育て支援	隐内伊杏红		系列保	育園		病児保証	育体制等	F	ベビーシッタ		料の補助			その他の	日共な古堂もで	站面 业本等。	の配庫								
該当に	院内保育所		その他			該当	E	_	その他					子育て支 援	H寸对型别的	努可 当直等へ	い配慮								
			なし					1	なし																
s,その他の福利厚生	医療費返還/療	養休暇制	度/職員1	食堂あり。女性医師	師が安心して堇	放務できるよ	うに休憩室	室、更衣	₹室、シャワ−	-室、当直	[室の整備	あり。													
	役職			資格等		年Ⅰ	ЧХ		就業時	計 間		当直		オンコ-	ール	勤務日数	1	休日		備者	× 5				
t,派遣医師の待遇(常勤)	(例)消化器内	科部長	消	肖化器内視鏡指導	医	1,500万円()	8:30 ~ 1			3 2回/月		有 2回		週5日		置/祝日	赴任手		、学会参加費				
										•				_											
u.派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日 (例)月、水			勤務形態 日勤(終日)		勤務F						防務内容 (、病棟管)	Œ			給与 100,000円/回	_	通費 途支給	调2~3□	備 和 D 勤務希望。	き う割(AM·PM)勤務				
u,//以足应 prp VV] 寸(也 (非市朝)	(四)月、水	, <u>лг</u>		山劃(於口)		J.UU ~					アオ	、7/20休官)	±			100,000円/凹	ננימ	坐 ▼福	MZ - 30	▽ ϶ルリク刃作業、)	」 ag (/ Tuvi · F IVI) 単ル形				
v,自由記載				より、月の業務時! ブセンターを設置。)と密に情	報交換	!が可能。社会	会医学系	専門医プロ	グラム基準	幹施設。』	專攻医在籍。											

a,要望医療機関名	神栖済生会症	病院					担当	省 -	所属 氏名		総務課 宮内 隆切	þ	連絡先	電話 Mail								
			R7 4	1.1時点の医師数((人) *	常勤	0	自院で	の採用(人)		Dr. PEX			IVICIII								
b,派遣を求める診療科	腎臓内科	4		常勤は、常勤換り	算の	常勤	0.7	大学等 派遣元	からの派遣(の内訳	人)	筑波大学	派遣元の 0.7	O内訳									
c,派遣要望人数	常勤	1.0	≱t	望する医師の クラン	7 74	医クラス		派	遣医師に求る	h z												
非常勤は、常勤換算の人数とすること	非常勤	0	布鱼	該当に	等门	医クラス 医クラス	0		遺格、技術等		日本腎脈	臓学会専	門医、日本	x透析医学?	会専門医	等						
	減員補充	·					D	± 075 (-184=		EL IOIME	71 to 12	//		***		野時亡っくどの	÷+ -	= 4- (-,	3.c.u.a.	+v #L 10 A 1 1	+*! ! + > / -	
d.要望の主な目的 該当に	体制強化				慢性腎臓病は、 層は幅広く、心』 行っていく必要が	血管疾患合	併症をは	はじめと	した複数の影	疹領域	が必要とな	る生活習	慣病であ	る。鹿行医療	寮圏の広り		踏まえ、	他病院と役割分	担と相互	補完を行い	つつ患者の	受入を
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	拠点形成その他				入れ促進を図る						, ,,,,,,,,	,,,,,,,						.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	171422	712//		0, 2,,,
e,要望人数の根拠				の診療において 、常勤1名の派遣		等の診療に	こあたって	ているが、	必要に応じ	て腎臓内	内科医への	診療を依	種している	5。し か し、 🗦	非常勤医 的	师2名(常勤換算(0.7名)で	対応しているた	め、入院	対応不可、	緊急的対応	困難な状
f.前年度の地対協・大学からの意見に			前年度	の地対協・大学	教育研修体制			病院に配	置すべきで	ある。また	と、医療圏の	として不足	足している[医師数が不	明である。							
対する対応状況等 前年度、地対協から大学等へ派遣 要請を行ったものの、結果的に配置が	前年度派遣要 請の有無		t	N らの意見 	·非常勤のみで ·専門医·指導図			り、派遣	元の状況や	他地域の	の要望との	調整が必	要である	さ考える。								
実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載	該当に〇			意見に対する 対応状況等	腎臓内科領域の 性が高まってい)需要は高 る診療域で	く、透析であること	を必要とこから、引	する患者もり き続き要望	曽加してる するもの	おり、現状(である。	の非常勤	のみの体質	制では対応	困難な状	況である。市町村	寸では、*	唐尿病性腎症重	症化予防	事業も開始	され、地域で	でも重要
	可(基幹施設)			主な連携施設名																		
・声明が吹み式不	可(連携施設)			基幹施設名																		
g,専門研修の可否 内科・外科はサブスペ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に	可(関連施設)			基幹施設名	プログラ	ラムを作成	中															
	不可			今後の予定	指導医	を確保・養	成中			備考												
					プログラ	ラムの作成	予定なし	J														
h,取得可能な資格																						
i,派遣医師の具体的な業務	救急診療、入院	完診療、夕	卜来診療	等																		
				での効果が期待で	<u>:</u> きる。																	
j.医師派遣による効果	・シャント増設術へ	曽大 小への救 への対応	急搬送件 合併症を(数の改善 半う人工透析患者 糖尿病性腎症重兆		の細胞対は	5の拡大															
	191111111111111111111111111111111111111		30 (110		E10110355% **	- DJ 773 X 3 X 1	3.0031107															
外来患者数	R 2 117,750		125,230	R 4 134,155	R 5 130,068	R	6 116,213	派遣	後の見込 124,020							左の根拠	T					
うち要望診療科関係	3,558		3,169	2,828	2,502		3,338		4,960													
入院患者数	35,632		36,078	33,339	31,827		26,188		25,185													
うち要望診療科関係 救急搬送件数	1,523		1,978	2,346	2,482	1	2,061		730 2,400													
うち要望診療科関係	771		1,144	984	1,009		908		1,056	うち要望	包診療科関	係の数値	道は、当院の	の統計上内	科で集約	しているため、内]科全体(の数値になりま	す。			
救急お断り件数	502		506	940	784		839		800	うち要望	皇診療科関	係の数値	直は、当院の	の統計上内	科で集約	しているため、内]科全体(の数値になりま	∮ 。			
うち要望診療科関係 手術件数	1,032		342 1,280	372 1,395	1,303	_	367 1,216		1,300													
うち要望診療科関係	0		0	0	(1	0		20	シャント	増設術											
医師1人あたり時間外労働時間 うち要望診療科関係	12.6		13.1	14.1	16.5		7.6		7													
()																						
その他、診療体制等																						
	HPやハローワ			掲出					に求人広告を													
k,自院での医師確保の取組状況 該当に	派遣元大学医			た働きかけ		経過・ 現状等			のみとなって			困難な 状	代況。									
	その他																					
I,看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画	看護師不足が常	態化して	いるが、<	令和7年4月には10	6名の看護師を採	採用した。次	マ年度以 に	降も、10	名程度の看	護師採用	月を予定して	ている状況	兄である。									
m.手術室、ICU、CT·MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備 計画	新棟建設に向けきるよう超音波内	て、手術	室の拡充 设置、自重	を検討しており、な か麻酔器の新規導	フリーンルームや 入等を行うなどし	最新の手術 して、診療な	桁機器が 環境整備	「整った ^取 に努め	環境の中で√ ている。今後	検査、手 も、医師・	術等を行う 確保に伴っ	うことが可 o て機器園	「能となる。 を備などの	消化器疾患 環境整備を	について 進める予	「は、悪性腫瘍を 定。	含めた核	食査から治療(内	羽視鏡治療	₹、低侵襲 手	術)まで幅原	ふ〈診療で
n,他の診療科との連携体制	内分泌内科医等	と連携し	、糖尿病	等患者への初期フ	プローチが迅速	に行われ、	疾病の	悪化をオ	・ 然に防ぐこ	とが可能	となる。											
	取得済		取得日			令和5年	8月29日															
o,宿日直許可の取得状況 該当に	取得予定		取得予定	官日及び進捗状況	ł																	
	取得予定なし なし(A水準)		理由等															10.15	무수1			
	特定地域医療提	供機関(B水準)				申請の ・進捗状	120	【共通】	医師の第	労働時間短	縮計画作	岸	[#	共通】評価	ロンターの評価	受審	【C-1の: 時間外 【C-2の:	手の時間数	女を記載した	プログラムロ	申請
p,特定労務管理対象機関の指定予定 該当に	連携型特定地域					該当日	に 及び を記載	が日付 _	/4		[<i>u</i> . n]										修計画の審	渣
	技能向上集中研 特定高度技能研					[Az	K準以外	-1	作成済 作成中		作成日 完成予定			申請済申請		申請日申請予定		申請済申請予済		申請日申請予定		
			専用宿舎	告(敷地内)				1	借上住宅使月	月料∶月客	時期 類 30,000F	円(光熱オ	K費込)	準備中		時期		1		時期		
			専用宿舎借上宿舎	告(敷地外)		定金	きの月額	-	入居可能室数 住宅手当(賃			- 000 III		その他の								
q.生活環境 該当に	宿舎の有無		住宅手			単身 /	世帯用の 丁能室数	り別、	エモナコ(貝	貝の物口	<u> </u>			生活環境 支援								
			その他]																
			なし あり					E	院内保育所で	で対応												
r,子育て支援	院内保育所		系列保育	意		病児保育		F	ベビーシッタ・		料の補助			その他の 子育 <i>て</i> ち	育時休美	業制度(1歳未満) 寺間勤務制度(3歳	の子)					
該当に	3 (1) (1)		その他 なし			該当に	-	H	その他 なし					援	肯児短明	可削勤務制度(3度	成まで)					
s,その他の福利厚生	医療費還付制度								-													
- 、この (6の)面刊序工		sc 1º70			ı				ALC: Y			X1:				***	ı	м —			44 at-	
t,派遣医師の待遇(常勤)	役職 (例)消化器内	科部長	淮	資格等 化器内視鏡指導	医 1.	年収 500万円(ミ		1)	就業時 8:30~1		ŧ	当直 9 2回/月	1	オンコ [・] 有 2回		勤務日数 週5日		休日 日曜/祝日	赴任事		構考 ────── =当、学会参	加費等
(1920)	(33),7310 8873		/1-		- 1,							- //	-	.5		7		A. M.H.	~±14.7		_, , , , , ,	
11 派海医師の法理 / 計学計	勤務曜日			勤務形態		勤務日						動務内容				給与	1	交通費	2周0 0		描考 3 分割(AM・E	DM) #+z+=+
u,派遣医師の待遇(非常勤)	(例)月、水、	<u> </u>		日勤(終日)		9:00 ~ 1	1.00				外来	天、病棟 管	1年			100,000円/回	1	別途支給	и⊴2 ~ 3	山の釧務希旨	型、分割(AM·F	ivi) 宝川猪 미
v,自由記載																						

	色付きのセルにん	入力してくだ	さい 。																		
a,要望医療機関名	神栖済生会症	病院					担当	绪 -	所属 氏名		総務記 宮内 隆		連絡先	電話 Mail							
.派遣を求める診療科	呼吸器内	科		.1時点の医師数(常勤は、常勤換! 人数とすること		常勤非常勤	0.5	大学等	の採用(人) からの派遣 の内訳		筑波大	派遣元(学 0.3、日		学 0.2							
派遣要望人数 非常勤は、常勤換算の人数とするこ	常勤非常勤	1.0	希望	』する医師のクラス 該当に	ス等専	攻医クラス 門医クラス 弾医クラス	٥ (遣医師に求 資格、技術等		日本『	乎吸器学会	等門医等	÷							
要望の主な目的 該当に	減員補充 体制強化 拠点形成 その他			がな要望理由、 遣の必要性	(1.0)に対しえる。患者受診 業務なども受	茨城及び暦 の経緯は そ託しており 禁県を含め	を行医療圏に 、近隣クリニ)、呼吸器内 て基幹病院。	は高い。 「ック紹介 」科への 、大学病	特に神栖市 介や健診異常 需要は非常	は顕著 常が主 に高い	ぎであり、肺: であり、健言 いが、現状の	炎;男性1.3	36/女性1.7 る受診率7 師2名(常	79、肺がん; が比較的高 動換算0.5名	;男性1.18/女 い傾向にある ()の診療体制	肺がん、慢性閉: 性1.15、そして慢。また当院は企動では限界がみら 県内での相互補	性閉塞性服業との提携 れる。院内	市疾患;男性 、結核患者 での検査体	生1.42とい 管理検診 本制は十分	ずれも全国平 及び結核患者 とは言えず、	均を上回ってに 諸接触者健康診 気管支鏡検査
要望人数の根拠	現状、非常勤医的 望。	師2名(常勤	換算0.5	5名)で対応してい	るため、外来	診療が中	心となってい	1る。常勤	加医師の派遣	遣により	り、検査及び	が治療の充	実、呼吸器	器疾患による	る急性増悪等	の救急受入など、	、診療拡大	を図ること	が可能とな	るため、常勤	11名の派遣を勢
前年度の地対協・大学からの意見に する対応状況等 前年度、地対協から大学等へ派遣 請を行ったものの、結果的に配置が 実現しなかったものを再度要望する場 にのみ記載	前年度派遣要 請の有無 該当に〇		上記	の地対協・大学 ^らの意見 意見に対する †応状況等	政策医療(オ	救急医療) 領域の需要	での派遣と	いうことで 状の非常	常勤のみの体	8当性7	がないように	思う。常勤	加医師1名7	で救急診療	を行うことは	#Uいのではない でも、域外搬送を		〜ら要望は3	受当であり	常勤医師14	ろでも、非常勤
	可(基幹施設)			主な連携施設名																	
専門研修の可否	可(連携施設) 可(関連施設)			基幹施設名 基幹施設名																	
内科・外科はサブスペ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に	9.(料理他設)			奉 轩	プロ	 グラムを作	E成中														
ᄢᆙᄝᆁᇎᄷᆀᇷᆸᇆᇝᄼᄼᅟᆁᆡᇆ	不可			今後の予定	指導	掌医を確保		L		備	考										
取得可能な資格																					
派遣医師の具体的な業務	救急診療、入院	完診療、外来	と診療 等	等																	
医師派遣による効果	常勤医師の配置 ・入院での急性其 ・外来患者数のサ ・当該疾患の域外 ・がん診断及び治 ・気管支鏡検査等	月治療の実施 曽大 小への救急 治療(化学療	施 搬送件 ほ法の実	[施]	"ేంది																
Al 赤色李亚	R2	R3		R4	R5	060	R6	派遣	後の見込	0						左の根拠					
外来患者数 うち要望診療科関係	117,750 2,473		25,230	134,155 2,303	130,	,068	116,213 2,540		3,720	_											
入院患者数	35,632		36,078	33,339	31,		26,188		25,185												
うち要望診療科関係	0		0	0		0	0		1,095	-											
救急搬送件数	1,523		1,978	2,346	2,	,482	2,061		2,400		更胡珍蠢科	関係の数値	有什 当险	の統計上は	おで生物し	こいるため、内科:	今休の数値	ちにかりまる			
うち要望診療科関係	771		1,144	984	1,	,009	908		1,056	6	女主砂原竹	天川ホワノ女人	直は、当所	107#JUBI 1117	STA C SENSO	C (10/20), P3f4.	土体の数階	きになりよう	0		
救急お断り件数	502		506	940		784	839		800	一うち引	要望診療科	関係の数値	直は、当院	の統計上内	3科で集約して	ているため、内科:	全体の数値	直になります	۲.		
うち要望診療科関係	231		342	372		286	367		352	2		177131-7301			.,, .,,,,,,,,,,						
手術件数	1,032		1,280	1,395	1,	,303	1,216		1,300	0											
うち要望診療科関係 医師1人あたり時間外労働時間	12.6		13.1	14.1		16.5	7.6		- 0	7											
うち要望診療科関係	0		0	0		0	0.0		,	0											
()																					
その他、診療体制等																					
,自院での医師確保の取組状況 該当に	HPやハローワ 派遣元大学医 自院医師等の その他	局への派遣	遣依頼			経過 現状	非常勤	かの派遣	に求人広告 のみとなって 極的に依頼	ており、	これ以上は	は、困難なれ	犬況。								
看護師等、医師以外の医療従事者の を足状況、増員計画	看護師不足が常	態化してい	るが、今	令和7年4月には10	6名の看護師で	を採用した	。次年度以	降も、10	名程度の看	護師技	採用を予定し	している状	況である。								
n,手術室、ICU、CT·MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備 十画		て、手術室(整備などのヨ	の拡充を 環境整体	を検討しており、ク 備を進める予定。	7リーンルー <i>ム</i>	なや最新の	手術機器が	「整った球	環境の中で、	検査、	手術等を行	ううことが同	丁能となる。	医療機器	については、	更新や新規導入領	等を行うな。	どして、診療	療環境整 備	に努めている	5。今後も、医師
,他の診療科との連携体制	他の内科医等と			ーチが迅速に行	われ、疾病の				となる。												
,宿日直許可の取得状況 該当に	取得済 取得予定 取得予定なし なし(A水準)	取	双得日 双得予定 理由等	ᢄ日及び進捗状況		令和:	5年8月29日	T													
が ・ 特定労務管理対象機関の指定予定 該当に	なU(A水準) 特定地域医療提連携型特定地域 技能向上集中研	医療提供機	機関(連	携B水準)		諺	申請の 準備・進捗状 3当に 及び 等を記載 【A水準以外	月付 _	【共通】)医師(の労働時間 作成日		作成	申請済		ンターの評価受験	a	【C-2の場	の時間数を 合】	E記載したプロ を・技能研修 申請日	コグラム申請 計画の審査
	特定高度技能研			合(敷地内)					作成中 借上住宅使/	用料:	完成予算 時期 月額 30,00		水費込)	申請準備中	Ħ	請予定 時期		申請予定		申請予定時期	
,生活環境 該当に	宿舎の有無	信せる	専用宿舎 昔上宿舎 主宅手当 その他			単 身	宿舎の月額 } / 世帯用の 居可能室数	、 D別、	入居可能室 住宅手当(賃			65,000円		その他の 生活環境 支援							
子育て支援 該当に	院内保育所	系	5り 系列保育 その他 よし	園			保育体制等 当に	-	院内保育所 ベビーシッタ その他 なし			功		その他の ・子育て支 援	育時休業制育児短時間	刂度(1歳未満の∃ 引勤務制度(3歳ま	子) まで)				
その他の福利厚生	医療費還付制度	、慶弔見舞	金制度																		
,派遣医師の待遇(常勤)	役職 (例)消化器内	科部長	消	資格等 化器内視鏡指導	医		年収 9(手当含む	1)	就業時 8:30~1			当直 有 2回/	月	オンコ 有 2[勤務日数 週5日		/祝日	赴任手	備考 当、住居手当	学会参加費
J.派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日 (例)月、水			勤務形態 日勤(終日)			務時間)~17:00				外	勤務内容				給与 100,000円/回		通費	週2~3日	備老 の勤務希望、分	↑割(AM·PM)勤
自由記載																					
 香は以上です。 御協力ありがとうごさ																					

######################################							40.14		所属	本部	部事務局		>= 45 4L	電話						
a,要望医療機関名	小山記念病院						担当		氏名	_	香 淳一		連絡先	Mail						
b,派遣を求める診療科	腎臓内科	4		4.1時点の医師数 		常勤	3		り採用(人) からの派遣			0 3 派遣元	の内訳		日本医科	科大学				
	7.52.41.51			人数とすること		常勤	0.6	派遣元の		(, ,										
c,派遣要望人数	常勤	2.0	希望	望する医師のクラン	7 笙	医クラス	1	派遣	豊医師にオ	えめる	4+1= +>1									
非常勤は、常勤換算の人数とすること	非常勤	0		該当に	导门	医クラス 医クラス	1		資格、技術		特になし	,								
	減員補充	Ü			3,413															
d.要望の主な目的	体制強化			りな要望理由、	現在の体制を料								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	+*!! = ! B+						
該当に	拠点形成)K:	遣の必要性	(今年度の要望	による派道	が叶わり	ないとして	1. 表次次元	か整っ7	た除に筑波ス	マアからの)派道を117	こだけると助	かります。	,)				
	その個																			
e,要望人数の根拠	現在の透析患者	数や腎臓	歳内科のタ	外来患者 · 入院患	者数を維持・継終	きするための	の人員数	を勘案し	て算出した	Ė,										
f.前年度の地対協·大学からの意見に 対する対応状況等	前年度派遣要			の地対協·大学 からの意見																
前年度、地対協から大学等へ派遣要請を行ったものの、結果的に配置が	前年度派遣安 請の有無 該当に○		上記	意見に対する																
実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載			文	村応状況等																
	可(基幹施設) 可(連携施設)			主な連携施設名 基幹施設名																
g,専門研修の可否	可(関連施設)			基幹施設名																
内科・外科はサブスペ領域まで 研修可能な場合にのみ「可」に						ラムを作成														
	不可			今後の予定		を確保・養		,		備	考									
h 取得可能か資均	なし				/ 1/					1										
h,取得可能な資格 		_ ,_ :																		
i,派遣医師の具体的な業務	・透析センターで・腎臓内科外来で			理																
	火・木・土も同様	に3クール	レの稼働を	は1日あたり3クー を目指したいが、B	医師数の問題で2	クールの移														
j,医師派遣による効果	また、透析センタ	ー業務の	比重がフ	大きく、腎臓内科疫	失患患者の急患	受け入れが	(困難であ	うることが	多い。											
	医師の増負等に	より、1251	かま者の かんこう	受け入れ強化 並	ひに 救急患者の	受け入れの	の強化に	繋かるも	のと考えて	ている。	•									
	R 2	R	23	R4	R5	R	6	派遣往	後の見込	1						左の根拠				
外来患者数	233,896		246,215	251,359	255,590	2	254,271			透析	折患者受け入	れの増加	によるもの)						
うち要望診療科関係	30,663		32,250	32,266 5,093	31,993	+	32,140		34,000)										
入院患者数 	5,783 66		5,964	5,093	5,602		6,164		100		蔵内科疾患の	救急患者	f受け入れ;	が可能となる	ため					
救急搬送件数	2,308		2,785	2,373	3,414	1	3,615													
うち要望診療科関係																				
救急お断り件数 うち要望診療科関係																				
手術件数	2,738		2,852	2,671	2,735		2,933													
うち要望診療科関係																				
医師1人あたり時間外労働時間 うち要望診療科関係	3		3	3	;	1	3				間外労働はほ	ぼない。								
()																				
その他、診療体制等																				
	HPやハローワ	- 2 o O	**	±+8 ш			不らから	氏付 ナマキ	今春が中が	t at the	な医師絶対数	#AT 01	- +n -+-	- ウはが	to 1 1					
k,自院での医師確保の取組状況	派遣元大学医			11611	0	- -			派遣は困難			XUJANEI	C&9, 77	7 — 日 体 // ·/	201					
該当に	自院医師等の	コネクショ	ョンを通じ	た働きかけ		現状等														
	その他	防止工会	⇒ ±± 5	塩床検査技師、管	理学養士の名類	ほが名荷	はでナム	かかなな	肥に安佐	してい	Z									
l,看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画	正看護師204名、	助産師2	1名の他、	・医療技術職員は 雇用しており、医	150名程度在籍	しております	す。													
m,手術室、ICU、CT·MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備				医が5名在籍してし おり、Angio装置も			≦術対応:	が可能で	ある。加算	の算に	定はしていな	いものの、	脳神経外	科病棟には	HCUが整	備されており、常時重	重症患者の収額	容が可能	である。	
計画	CT农量182日。N	IKII&J [JE MII U C	のが、Airgio表直も	2日 称動している	0														
n,他の診療科との連携体制	診療上、関係の流	深い診療	科との連	携は時間を問わる	ずシステム化され	ている。(カ	ホットライ	ン体制の	実績により	り検証	済み)									
o,宿日直許可の取得状況	取得済		取得日																	
該当に	取得予定 取得予定なし	0	取得予定 理由等	定日及び進捗状況	t															
	なし(A水準)				0													-1の場合		
p,特定労務管理対象機関の指定予定	特定地域医療提	供機関(E	B水準)			準備	申請の ・進捗状		【共通]医師	あの労働時間 の	短縮計画	作成	[5	共通]評個	ゴセンターの評価受審	IC.	2-2の場合	D時間数を記載したプログラ 含】 最境の審査・技能研修計画の	
該当に	技能向上集中研	修機関((C-1水準))		*	に 及び 手を記載 水準以外	_	作成済		作成日	202	23/4/1	申請済		申請日		申請済	申請日	/
	特定高度技能研					177	- ·×//		作成中		完成予定時期			申請準備中		申請予定時期		請予定	申請予定時期	
				舎(敷地内)						45.		#	A							
(I Are will be			専用宿舎	舎(敷地外) 金	0	宿舎	きの月額		実質負	担なし)、単身 / 世詩	帯用の双	方あり	その他の	= /= - +					
q,生活環境 該当に	宿舎の有無		住宅手				世帯用の 可能室数							生活環境 支援		社宅担当者が居るたる るトラブルや手続きは		が代行し	しています。	
			その他																	
			なし あり					ß≑	完内保育所	で対応	ট									
r,子育て支援	隐由但去年		系列保育	育園	0	病児保育		^*			 利用料の補助	ħ				護休暇制度あり。				
該当に	院内保育所		その他			該当に		そ	の他							学校から学童保育へ	の移動に係る	るタクシ ー	-を手配しています。	
			なし					な	il.				0							
s,その他の福利厚生	·医療費減免制度 ·学会費支給 年		全額補助	年3回目から	参加費及び、交流	通費10,000	円のみ支	泛給												
	役職			資格等		年山	X		就業日	時間		当直		オンコ・	ール	勤務日数	休日		備考	
t,派遣医師の待遇(常勤)	(例)消化器内	科部長	消	的化器内視鏡指導	医 1	500万円(1)	8:30 ~			有 2回/	月	有 2回		週5日	日曜/祝		赴任手当、住居手当、学会	途参加費 等
	방上 코스nn			せんマカ ヤノ ムー		サトコトゥ	±98					禁力 マク・・・	-			<i>6</i> ∧ ⊢			/# ±-	
u,派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日 (例)月、水			勤務形態 一 日勤(終日)		勤務日		+				勤務内容 来、病棟行				給与 100,000円/回	交通費 別途支援		備考 週2~3日の勤務希望、分割(A	M·PM)勤務可
(11 112 2000)	(), 3/ 3/			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,												.,, H				,
v,自由記載	業務時間が長い ・夜間当直は非常 ・救急専門医(常	ハ医師に 対勤医師; 勤)を2名;	対しては、 が90%以 採用し、非	刻を実施しており、 、幹部医師が直接、上担当する等、常 対急初期対応の負 には、病院幹部によ	モヒアリングし、問 ぎ勤医の業務負打 負担軽減に取り組	題点の解決 □軽減に取 」んでいます	夬に早期 !り組んで け。	に取り組 います。	むよう努め	っていま	ます。									

a,要望医療機関名	鹿嶋ハートクリニ	ック					担当	偖	所属 氏名	事業推			連絡先	電話 Mail							
b,派遣を求める診療科	循環器内	€1.		4.1時点の医師数(F常勤は、常勤換		常勤	6	-	での採用(人) 等からの派遣)	6	派遣元の	の内部								
D, MX足で水のGiシ原料	1/4 根 6 円 4	14	71	人数とすること	非	常勤	1.8		テクラの派遣	1(人)	昭和医科			、昭和大学	病院、帝京	(大学医学	部付属病	院			
c.派遣要望人数 非常勤は、常勤換算の人数とするこ と	常勤非常勤	1.0	希望	望する医師のクラス 該当に	ス等 専門	医クラス 医クラス 医クラス		j	派遣医師に求 資格、技術												
d.要望の主な目的 該当に	減員補充 体制強化 拠点形成 その他			うな要望理由、 遣の必要性	地域では循環器 当院は2024年1 疾患(例:急性力	器疾患の重 1月に病院 大動脈解離 踏まえ、地域	証患者に 競機能を拡 計等) に対	対応で 充し、 して迅	できる医療資 ハイブリッド 速な治療が行	源が限られ 手術室を2 うえず、患	れており、⅓ 室体制とし 者の搬送¤	或外への ましたが 中に救命	搬送が常り 、医師体制 の機会を込	態化していま 別が整わず救 とする事例も	す。 対急手術を 発生してい	十分に受 /ます。	け入れるこ	ことができれ	ない状況が	きな課題となっています。とり 続いています。このため、緊急 内科・心臓血管外科・麻酔科の	急性の高い
e.要望人数の根拠	•循環器内科医:	常勤1名	(ICD, CF	E例の拡大および RT等のデバイス治 循環器治療を担う	療、Watchman導	算入等の専	門性強化	とに対応	む)				と判断して	おります。							
f.前年度の地対協・大学からの意見に 対する対応状況等 前年度、地対協から大学等へ派遣	前年度派遣要請			の地対協・大学 いらの意見																	
要請を行ったものの、結果的に配置が 実現しなかったものを再度要望する場合にのみ記載	の有無 該当に〇			意見に対する 対応状況等																	
	可(基幹施設)			主な連携施設名 基幹施設名					京大学医学												
g,専門研修の可否 内科・外科はサブスペ領域まで	可(関連施設)			基幹施設名	帝京大	学医学部	附属病院		· 水八子区子	디카이 (교육기상)	7. 447/2 00	NEW PAC									
研修可能な場合にのみ「可」に	不可			今後の予定	指導医	ラムを作成 を確保・ 養 ラムの作成	養成中	,		備考											
h,取得可能な資格	循環器専門医、不	下整脈専	門医																		
i.派遣医師の具体的な業務	・ハイブリッド手衫・Watchmanデバ・急性心不全、心・心臓リハビリテ	桁室を活成 イス(左心 が筋梗塞、 ーションの との連携(用したカラン耳閉鎖 シ耳閉鎖 重症不動 の評価とこ (症例カン	ファレンス・紹介ラ	ペンション(例:PC に関わる診療・技 患への対応	I、TAVIな		が管理													
j,医師派遣による効果	・地域内での循环・ICD、CRTに加力	胃器疾患 え、今後導	の即時対 尊入予定	されれば、以下の 応が可能となり、 のWatchmanや急 ッリティー育成や、	域外への搬送を 性大動脈解離へ	大幅に減り	少させるこ 治療など、	対応	可能な疾患の	の幅が拡か	ることによ	り、地域	の高度医療	寮二一ズに爪 します。	 むえること;	ができます	0				
外来患者数	R2 調査中	R 調査	13	R 4 48323	R 5 4584	_	43982	派注	遣後の見込 4700	0 当院の	外来患者数	女は令和	4年以降、1	医師不足等日	により減少	傾向が続	の根拠	す 。しかし、	医師派遣日	こより循環器内科・心臓血管タ	外科の専門
うち要望診療科関係	調査中	調査	查中	調査中	調査中	調	査中		調査中	度には4	17,000人、4	令和8年月	度には50,0	00人程度ま	で回復・増	加すると	見込まれま	す。		ど、患者流入の要素が顕在化 した通院基盤を築〈ことが可食	
入院患者数	調査中	調1	查中	4853	548	6	6114		680	コアルマン	入院ベッド	数は23床	であり、医	師派遣によ	り診療体制	別が強化さ	れることで	で、ベッド回	回転率の向	上(平均在院日数の短縮)およ 程度に達すると見込んでおり	よび救急搬
うち要望診療科関係	調査中	調査	查中	調査中	調査中	in i	查中		調査中	特に、た	か受け入れ iテーテル ることが可信	検査・デノ	バイス治療	・緊急循環器	半幅八院に	の短期入	院症例が	増加するこ	ことで、限ら	住民に建すると見込んであり。 れた病床を有効活用しながら	地域ニーズ
救急搬送件数	調査中	調査	查中	170	21	6	227		30	300件程	度、令和8	年度には	は350件程度	ほまでの 増加	口が見込ま	れます。				令和7年度には救急車の受け	
うち要望診療科関係	調査中		查中	調査中	調査中		査中		調査中	救急隊	との連携強	化によっ	て、地域ア	対搬送の優先	も病院とし	ての位置で	づけが確立	なされること	とに起因しる		
救急お断り件数	調査中調査中		查中 	調査中調査中	調査中		97 査中		調査中	が見込	まれます。	これは、往	従来謝絶0		ていた循葉	睘器疾患(急性心不:)し、令和8年度には20件程度 低解離等)への24時間緊急対応	
うち要望診療科関係 	調査中		性 性 性	782	78		896		105	ハイブリ	リッド手術室	図の本格	稼働と合わ	せ、地域の	救急搬送	受け入れ	機能を回復			を最小限に抑えることが期待さ 	
うち要望診療科関係	調査中	調工	查中	580	61	6	712		85	療の受加えて、	ナ入れが飛 地域に流	を躍的に 出してい	広大します	。 成内収容や新						術件数は1,050件以上と見込ま	
医師1人あたり時間外労働時間	0		0	0		0	0			0	- HJM -X	373 100 (C	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
うち要望診療科関係	0		0	0		0	0			0											
	(例)																				
その他、診療体制等	· 当院に1名増員	されること Vては現在	とにより、 E1名加れ	ることにより、〇(て複数病院での軸	侖番体制を	構築する	ことが	可能となる。	わった4名	体制となる	ことで、	2名×2チ·	-ムを構築で	でき、24時	間の診療	が可能とな	⊋3, 			
k,自院での医師確保の取組状況 該当に	派遣元大学医	局への派	遣依頼			経過· 現状等	定期的に	に採用で	面接を行って	いるが、抗	採用となる!	ケースが	ない状況で	ある。							
	その他	コネソショ	フを通り	に則さかり																	
I,看護師等、医師以外の医療従事者の 充足状況、増員計画	不足 採用活動を	を行い、増	曽員計画を	を行っている状況																	
m,手術室、ICU、CT·MRI等のハード設 備等の診療環境の現状、今後の整備 計画	HCUの施設基準 その後、ICUへの			にいる																	
n,他の診療科との連携体制	消化器·眼科·呼	吸器·後刀	方支援等	、近隣の医療機関	との密な連携体	制を構築	している。														
o,宿日直許可の取得状況	取得済取得予定		取得日取得予定	ミ日及び進捗状況		2024年															
該当に	取得予定なし なし(A水準)		理由等																10 :		
p.特定労務管理対象機関の指定予定	特定地域医療提		,				申請の 計・進捗状	況	【共通	1]医師のタ	労働時間短	縮計画作	乍成	[#	共通]評価	センターの	O評価受審	F	【C-2の場	の時間数を記載したプログラ	
該当に	連携型特定地域 技能向上集中研			携B水準)		-	iに 及び 等を記載 水準以外		作成済		作成日	2025	年4月	申請済		申請日			申請済	申請日	/番旦
	特定高度技能研	修機関(C		合(敷地内)					作成中		完成予定 時期			申請 準備中		申請予定 時期			申請予定	申請予定時期	
			専用宿舎	膏(敷地外)		edia -	舎の月額							その他の							
q,生活環境 該当に	宿舎の有無		借上宿舍 住宅手			単身 /	古の月額 世帯用の 可能室数	D別、						をが他の 生活環境 支援							
			その他 なし																		
,之卒于士坪			あり 系列保育	三		¢10.//	○ /+===		院内保育所		料の補助			ス かル つ							
r,子育て支援 該当に	院内保育所		スパボト その他 なし			上 病児保育 該当日	育体制等 こ		その他 なし	3/13				その他の 子育て支援							
s.その他の福利厚生	通勤手当·昼食無	氏料	'o⊾ U						/s. U												
	役職	(v) ÷e =		資格等		年			就業			当直		オンコ・			日数		木日	備考	W-1
t,派遣医師の待遇(常勤)	(例)消化器内	科部長	消	化器内視鏡指導	医 1	,500万円(+当含む	1)	8:30 ~	17:00	1	有 2回/)	∃	有 2回	의/週	遇.	5日	日曜	2/祝日	赴任手当、住居手当、学会	:参加費 等
u,派遣医師の待遇(非常勤)	勤務曜日(例)月、水、			勤務形態 日勤(終日)		勤務E 9:00 ~						勤務内容					与 0円/回		通費 金支給	備考 週2~3日の勤務希望、分割(Al	.M·PM)勤務可
	(53)13(34)	_				00					717					. 50,00		,11		A STATE OF THE STA	, 20179 '3
v,自由記載																					

色付きのセルに)	人力してくだ	さい 。										
鹿嶋ハートクリニ・	ック			担当者	所属 氏名	事業推進課 高宮 椰弘		連絡先	電話 Mail			
心臓血管外	科		算の	常勤 3 大	学等からの派	遣(人)			四和大学	宝吃 娄古士学医学郊付属症	腔	
常勤非常勤	1.0	希望する医師のクラ 該当に	東京 東京 東京	文医クラス 門医クラス	派遣医師に	求める	<u>运行入子</u> 江茅	· 豆/川/内/元	、咱们人子	朴木、市水入子区子 即门腐水	л	
減員補充 体制強化 拠点形成 その他		具体的な要望理由、 派遣の必要性	地域では循環 当院は2024年 疾患(例:急性 こうした背景を	器疾患の重症患者に対 11月に病院機能を拡充 大動脈解離等)に対して 踏まえ、地域における()	応できる医療 し、ハイブリッ 迅速な治療が	資源が限られてお ド手術室を2室体制 バ行えず、患者の損	り、域外への: としましたが、 送中に救命。	般送が常 原師体 の機会を追	態化していま 」が整わず救 とする事例も	す。 急手術を十分に受け入れるこ 発生しています。	とができない状況	とが続いています。このため、緊急性の高に
•心臟血管外科图	医:常勤1名	(急性大動脈解離などの)外科的緊急対	応のため)				判断して	おります。			
前年度派遣要請		前年度の地対協·大学 からの意見										
が有無 該当に〇		上記意見に対する 対応状況等										
可(基幹施設)												
可(関連施設)		基幹施設名	帝京	大学医学部附属病院		3 41-1131-41-31-30.	2 40/0///					
不可		今後の予定				備考						
浅大腿動脈ステン	/ トグラフト	研修、腹部ステントグラフ	<u> </u>		支静脈瘤に対	する血管内治療						
・ハイブリッド手術・心臓・大血管疾・地域における重・医学生・研修医	i室を活用 患の外科的 症循環器 ・専攻医へ	した低侵襲治療(EVAR、 内治療計画立案および代 疾患への24時間緊急対 の心臓血管外科教育・3	TEVAR等)の導 診療科との協信 応体制の構築 尾習対応	動診療	後管理							
地域内での循環ICD、CRTに加え	器疾患の	即時対応が可能となり、 入予定のWatchmanや急	域外への搬送を 性大動脈解離	を大幅に減少させること への外科的治療など、対	応可能な疾患	の幅が拡がること	により、地域	の高度医療		えることができます。		
R2 調査中			R 5			000 当院の外来患						
調査中	調査	中調査中	調査中	調査中	調査中	度には47,000	人、令和8年月	建には50,0	00人程度ま	で回復・増加すると見込まれま	す。	
調査中	調査	中 4853	54	86 6114	6	コアル・ノストル・ハ						
調査中	調査	中調査中	調査中	調査中	調査中	特に、カテーテ	テル検査・デノ	イス治療				
調査中						300件程度、含	和8年度には	350件程度	ままでの増加	が見込まれます。		
					調査中	救急隊との連	携強化によっ	て、地域内	搬送の優先	病院としての位置づけが確立	Zされることに起因	します。
					調査中	── が見込まれま なること、およ	す。これは、行 び手術・処置	注来謝絶の を担う医師	主因となっ 体制が整備	ていた循環器疾患(急性心不 されることによるものです。	全、心筋梗塞、大量	助脈解離等)への24時間緊急対応が可能
調査中												
調査中	調査	中 180	1	42 151		療の受け入れ	が飛躍的に払	太大します と症例の ^は	。 【内収容や新			
0		0 0		0 0		0						
0		0 0		0 0		0						
派遣元大学医院	高への派遣	置依頼		経過・定期的に摂現状等	月面接を行っ	ているが、採用とな	なるケースがフ	ない状況で	ある。			
不足 採用活動を	行い、増員	員計画を行っている状況										
消化器·眼科·呼呼	及器·後方	支援等、近隣の医療機関	目との密な連携	体制を構築している。								
取得済 取得予定 取得予定なし	耳	双得予定日及び進捗状況	l	2024年								
連携型特定地域[医療提供機	獎関(連携B水準)		等を記載	付						[C-2 <i>0</i>] 教育研	等の時間数を記載したプログラム申請 0場合] 「修環境の審査・技能研修計画の審査
		• .,		[A水準以外]		完成 完成 元	予定	午4月	申請済申請準備中	申請予定時期	申請予	由妹又安
宿舎の有無	東	厚用宿舎(敷地外)		宿舎の月額 単身/世帯用の別 入居可能室数 等					その他の 生活環境 支援			
	₹					所で対応						
	ta	î U			隐内存至							
院内保育所	た あ 系			病児保育体制等 該当に		ッター等利用料の剤	甫助		その他の 子育て支援			
院内保育所 通勤手当・昼食無	た あ 子 で た	t し 5り 系列保育園 その他			ベビーショ その他		甫助					
	な 表 え る な	t し 5り 系列保育園 その他	医		ベビーシッ その他 なし 就		当直有 2回/月				休日 日曜/祝日	備考 赴任手当、住居手当、学会参加費
通勤手当·昼食無 役職	を表える。	はし 55円 系列保育園 その他 はし 資格等	E	養当に	ベビーシッ その他 なし 就	メター等利用料の和 業時間 ~ 17:00	当直		子育て支援オンコ・オンコ・			
	鹿嶋ハーケリニ・ 常子 で	鹿嶋ハートクリニック	・小製血管外科	市場的	南藤八トトクリニック	おおお	日本の		超数	日本の	日本の	数数

令和7年6月16日 潮来保健所

令和7年度 第2回鹿行保健医療圏における救急医療ワーキング会議 開催内容(案)

令和6年度第1回保健医療福祉協議会及び第4回鹿行地域医療構想調整会議において報告いたしました、県南東医療提供圏以外の連携も含めた当医療圏の救急医療ワーキング会議につきましては開催に向け調整しております。

開催内容については、下記のとおりを考えておりますので、ご報告いたします。

記

1 目的

鹿行保健医療圏における水戸医療圏及び千葉県を含む圏域内外の救急医療の現状と課題について、関係機関で情報を共有し課題解決に向けた協議を行う。

2 参加者

別紙参加者(案)のとおり 39機関 2023年の年間救急搬送件数が90件以上の実績がある医療機関

- 3 協議内容(案)
 - ・鹿行医療圏の医療提供状況
 - ・参加機関からのご意見等によるディスカッション

令和7年度第2回鹿行保健医療圏における救急医療ワーキング会議 出席者名簿(案)

【R7開催 出席メンバー】

〇鹿行保健医療圏内

	区分	団体名·役職名
1	医師会	一般社団法人 鹿島医師会
2		一般社団法人 水郷医師会
3		一般社団法人 水戸医師会
4		一般社団法人 県央医師会
5		一般社団法人 土浦医師会
6	医療機関	小山記念病院
7		白十字総合病院
8		神栖済生会病院
9		高須病院
10		鉾田病院
11		鹿嶋ハートクリニック
12	消防	鹿行広域事務組合消防本部
13	, red	鹿島地方事務組合消防本部
14	市町村	鹿嶋市
15		潮来市
16		神栖市
17		行方市
18		鉾田市
19	保健所	潮来保健所
20	県	医療政策課

〇鹿行保健医療圏外

	区分	団体名·役職名
21	医療機関	総合病院土浦協同病院
22		水戸医療センター
23		水戸赤十字病院
24		水戸協同病院
25		東京医科大学茨城医療センター
26		茨城県立こども病院
27		大洗海岸病院
28		石岡循環器科脳神経外科病院
29		山王台病院
30	保健所	中央保健所
31		水戸保健所

〇千葉県

_		
32	医療機関	旭中央病院
33		島田総合病院
34		千葉県立佐原病院
35		成田赤十字病院
36		日本医科大学千葉北総病院
37	保健所	海匝保健所
38		印旛保健所
39		香取保健所